



F-51F

取扱説明書

はじめに

「F-51F」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。
本端末には視覚に障がいのある方にご利用いただけるように、画面上の情報などを読み上げるTalkBack機能があります。

- 機能をオンにするにはホーム画面で $\oplus$ (アプリ一覧) → [設定] → [ユーザー補助] → [TalkBack] → [TalkBackを使用] をONにしてください。解除も同様です。
- 「TalkBack」の設定については「ユーザー補助」をご確認ください。→P141

取扱説明書について

「クイックスタートガイド」(本体付属品)

各部の名称と機能について説明しています。

「取扱説明書」アプリ (eトリセツ) (本端末のアプリ)

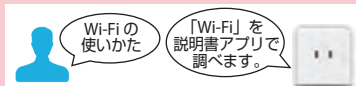
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
フリーワード検索や表示中のページから設定画面やアプリを直接起動できるなど、本端末をより便利にお使いになれます。



【ご利用方法】

ホーム画面で $\oplus$ → [ツール] → [取扱説明書]

※初めてご利用になる場合は、画面の指示に従って本アプリをダウンロードしてインストールする必要があります。
※「my daiz」から「取扱説明書」(eトリセツ) アプリを呼び出すこともできます。



「取扱説明書」(PDFファイル)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロードできます。

本書の見かた

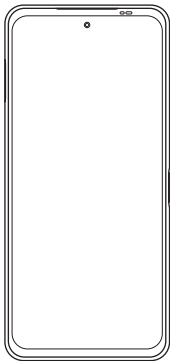
- 本書においては、「F-51F」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本端末は、品質改善や機能の追加のため、オペレーティ

ングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する情報は、ドコモのホームページをご覧ください。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。

- お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- 本書は端末カラーが「スレートグレイ」、ホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

本体付属品

■ F-51F本体



■ クイックスタートガイド

- 本端末に対応するオプション品（別売品）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

目次

■本体付属品	1
--------------	---

注意事項 5

本端末のご利用について	5
安全上のご注意（必ずお守りください）	7
取り扱い上のご注意	16
防水／防塵、耐衝撃性能	22

ご使用前の準備 31

各部の名称と機能	31
nanoSIMカード	33
eSIM	35
microSDカード	35
充電	38
電源を入れる／切る	40
初期設定	42
本端末で利用する暗証番号について	44

基本操作 47

基本操作	47
文字入力	50
画面表示／アイコン	56
タスク管理	62
画面表示の拡大	63
分割画面	63

ホーム画面 64

ホームアプリの切り替えかた	64
docomo LIVE UX	64
ホーム画面の見かた	64
ホーム画面の管理	65
アプリ一覧画面	67
SmartNews for docomo	71
アプリを探す	71
my daiz NOW	72
ホームアプリの情報	72

電話／電話帳 73

電話をかける	73
電話を受ける	76
通話中の操作	77
発着信履歴	78
伝言メモ	79
通話設定	79
電話帳	81
自分の電話番号	83

メール／ウェブブラウザ 84

ドコモメール	84
+メッセージ	84
Gmail	90
緊急速報「エリアメール」	90
Chrome™	91

カメラ	95
カメラ	95
フォト	103
アプリ	104
dメニュー	104
Play ストア	104
おサイフケータイ	106
arrowsポータル (La Member's)	108
らくらくコミュニティ	109
radiko+FM	109
ララしあコネクト	110
FASTメモ	112
位置情報・GPS	112
スケジュール	115
時計	116
電卓	118
検索	118
ドコモデータコピー	119
自律神経パワー	121
本体設定	122
設定メニュー	122
インターネット	123
通話とSMS	126
SIM	126
機内モード	129
アクセス ポイントとテザリング	129
データセーバー	131

VPN (仮想プライベートネットワーク)	131
プライベートDNS	132
接続の詳細設定	132
コーデック選択	133
アプリ	133
通知	135
電池とデバイスケア	135
ストレージ	137
ディスプレイ	137
壁紙	139
音とバイブレーション	140
ユーザー補助	141
セキュリティとプライバシー	143
安全性と緊急情報	151
arrowsオススメ機能	152
ドコモのサービス/クラウド	158
パスワードとアカウント	159
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	160
Google	160
言語	160
キーボード	161
動作	162
歩数計	162
日付と時刻	163
バックアップ	164
リセット オプション	164
診断データ送信	165
デバイス情報	166

ファイル管理 167

本体（内部ストレージ）	167
microSDカード（外部ストレージ）	167
ファイル操作	168

データ通信 169

Bluetooth®通信	169
NFC通信	172

外部機器接続 173

パソコンとの接続	173
プリンタとの接続	173
その他の機器との接続	174

海外利用 175

国際ローミング（WORLD WING）の概要	175
海外で利用可能なサービス	175
海外でご利用になる前に	175
滞在先で電話をかける／受ける	178
国際ローミングの設定	180
帰国後の確認	181

付録 182

トラブルシューティング（FAQ）	182
ソフトウェアアップデート	188
保証とアフターサービス	190
主な仕様	193
携帯電話機の電波防護への適合性	194
Compliance Information on Human Exposure to Radio Waves of Mobile Phones	195
輸出管理規制	202
知的財産権	203

索引 206

索引	206
----------	-----

注意事項

本端末のご利用について

- 本端末は、5G・LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しているSIMロックが設定されていない端末です。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、5Gサービスエリア、LTEサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用にならない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが■を表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合があります。
- 5G・LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますのて、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としで聞き取れません。
- 本端末は、音声デジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- nanoSIMカードとeSIMの同時利用についてはご利用になれるサービス、機能などが制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いいたします。本端

末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねます。

- ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上で利用ください。お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 初期設定にて、ドコモが提供するアプリが自動的にインストールされる場合があります。その際、モバイルネットワークをご利用の場合にはパケット通信料が発生する可能性があります。アプリはお客様さまから事前に同意をいただき当社に提供いただいたお客様さまの情報及びその他の当社が保有しているお客様さまの情報をういてお客様さまのニーズを推測し自動的に選定されます。お客様さまの情報の取り扱いについては当社プライバシーポリシーに定める通り適正に管理します。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。

- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、端末末のセキュリティを確保してください。→P143
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google Play などの Google サービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- Google LLC が提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Google および各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られています。一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありません。
- 端末には有機ELディスプレイを使用しています。長時間同じ画像を表示させるとディスプレイに残像が発生することがありますが故障ではありません。残像発生防止のため、長時間同じ画像を表示し続けないようにしてください。
- ディスプレイの明るさを必要以上に明るい設定にしたり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちたり、色が変わる場合があります。また、見る方向によって色や明るさのむら、色の変化が見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしません。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

◆ 本端末、アダプタ、nanoSIMカードの取り扱い（共通）

⚠ 危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P22「防水／防塵、耐衝撃性能」



禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
また、風呂場や加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P22「防水／防塵、耐衝撃性能」



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶついたり、物に挟んだりしないでください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ ご注意いただきたい例

- スポンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む



禁止

本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本端末の外装ケース（背面）は取り外せません。取り外そうとしないでください。また、内蔵電池の膨れなどにより本端末が膨れている場合も、外装ケース（背面）を取り外そうとしたり、無理に押し込まないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

→P22「防水／防塵、耐衝撃性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。

→P22「防水／防塵、耐衝撃性能」



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定以外のものや、製造・販売元・仕様が不明確なものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



水濡れ禁止

お手入れの際は、消毒液や水分が隙間、充電端子、外部接続端子、マイク、スピーカー部に入らないようにしてください。

本端末の破損により、けが、感電などの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。

ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。

また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。

- 本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイブレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P22「防水／防塵、耐衝撃性能」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所、および、ペットが触れる場所に置かないでください。
スロットキャップのトレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

◆本端末の取り扱い

⚠危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告



禁止

フラッシュ／ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてフラッシュ／ライトを点灯、発光しないでください。

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のスロットキャップの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やホチキスの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、nanoSIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズなどのガラスを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意



禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響について確認の上で使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。

→P15「材質一覧」



指示

本端末のアウトカメラ部、受話口／スピーカー部、スピーカー部、バイブレータ部（背面下部）に磁気が発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分に明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

◆アダプタの取り扱い

⚠警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。

やけどなどの原因となります。

◆ nanoSIMカードの取り扱い

⚠注意



指示

nanoSIMカードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

◆ 医用電気機器近くでの取り扱い

⚠警告



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

◆ 材質一覧

■ F-51F 本体

使用箇所	材質／表面処理
ディスプレイパネル	強化ガラス／AFコーティング
外装ケース（側面）	PA-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理

使用箇所		材質／表面処理
外装ケース（背面）		PMMA／ハードコート
フラッシュ／ライトパネル		PMMA／なし
アウトカメラパネル		強化ガラス／AFコーティング
カメラフレーム		アルミ／アルマイト処理
電源キー／指紋センサー		EMC／アクリル系UV硬化塗装処理
音量キー		PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
スロット キャップ	キャップ本体	PC-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	キャップ本体パッキン部	シリコンゴム／なし
	トレイ	PC樹脂+SUS／なし
USB Type-C接続端子		PA樹脂／なし
イヤホンマイク端子		PA樹脂／なし
脈波センサーパネル		PMMA／AFコーティング

取り扱い上のご注意

◆ 共通のお願い

- 本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。
 - アダプタ、nanoSIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となりますのでご注意ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - 端子や各センサーなどが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
 - シンナー、ベンジンなどで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 消毒・除菌について
 - 本端末はアルコール除菌シート・スプレーを使用して、噴霧または拭き取りにより、本端末の消毒や一定量のウイルス除去ができます。^{※1}
 - 本端末を除菌・消毒する際には、誤動作防止のため画面を消灯してから行ってください。

スプレーをご使用の場合は、本端末から5cm程度離し、霧吹きで噴霧して拭き取り、その後水拭きしてアルコールや液剤を取り除いてください。

アルコール除菌シートまたは液剤を浸み込ませたキッチンペーパーをご使用の場合は、製品を拭き取り、その後水拭きしてアルコールや液剤を取り除いてください。

- 使用できる薬剤等は以下のとおりです。

アルコール※2、次亜塩素酸水、界面活性剤（台所用洗剤）、界面活性剤（家具用洗剤）。ただし、塩素や塩素系添加物の含有量が0.05w/v%以下の液剤をご使用ください。

- ※1 厚生労働省・経済産業省【独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）】・消費者庁発表の消毒方法をもとに、FCNT 合同会社試験方法により検証実施済み（本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての消毒用製品・洗剤で洗えることを保証するものではありません）。

- ※2 市販のアルコール（エタノール）消毒液およびアルコールタイプ（エタノール）のウェットティッシュ。

- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
 - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末に無理な力がかからないように使用してください。
 - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。

- オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

- 指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。

- 極端な高温、低温は避けてください。

- 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

充電は5℃～35℃の範囲でしていただき、風呂場や湿度の高い場所では充電しないでください。

風呂場でのご使用については、「F-51Fが有する防水性能でできること」（→P24）をご参照ください。

- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◆ 本端末についてのお願い

- ディスプレイを強く押ししたり、先の尖ったもので操作したりしないでください。
 - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）の近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
 - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はスロットキャップを閉じた状態でご使用ください。
 - 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。

- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。
 - 指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
 - データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。
 - キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
 - また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。
- 本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。
 - 近接センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。
 - 近接センサーの位置は、以下をご参照ください。
→P31「各部の名称と機能」
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
 - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管
 なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表 示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

◆アダプタについてのお願い

- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）の近く
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンをつけたまま使用しないでください。
 - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

◆nanoSIMカードについてのお願い

- nanoSIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにnanoSIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
 - IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけません。
- 環境保全のため、不要になったnanoSIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不注意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
 - データの消失、故障の原因となります。
- nanoSIMカードに以下のことをしないでください。
 - 曲げたり、重いものをのせる
 - ラベルやシールなどを貼った状態で本端末に取り付ける

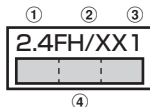
◆ Bluetooth機能を利用する場合のお願い

■ 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 周波数帯について

本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH/XX : 変調方式がFH-SS方式およびその他の方式（DS-SS方式／DS-FH方式／FH-OFDM複合方式／OFDM方式以外）であることを示します。
- ③ 1 : 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
- ④  : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

ご利用の国によってはBluetooth機能の利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末のお問い合わせ先までお問い合わせください。

◆無線LAN (WLAN) についてお願い

■無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

■無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

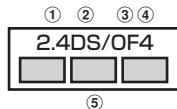
●無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

●周波数帯について

本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4：想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の利用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

圏外の場合には、国内外に関わらず2.4GHz帯の12、13チャンネルは使用できません。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末のお問い合わせ先までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末のお問い合わせ先までお問い合わせください。

5GHz機器使用上の注意事項

5.2／5.3GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています（5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント／中継局と通信する場合を除く）。本端末が日本で使用できる周波数とチャンネル番号は次のとおりです。

- ・ 5.2GHz帯：5180～5240MHz（36、40、44、48ch）

- ・ 5.3GHz帯：5260～5320MHz（52、56、60、64ch）
- ・ 5.6GHz帯：5500～5720MHz（100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140、144ch）

6GHz機器使用上の注意事項

6GHzの送信電力クラスはLPI（Low Power Indoor）とVLP（Very Low Power）に対応しています。6GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています（6GHzテザリング（VLPモード）利用は除く）。本端末が日本で使用できる周波数は次のとおりです。

- ・ 6GHz帯：5925MHz～6425MHz

◆FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについて

- ・ 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- ・ 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- ・ 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

◆ 注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘板に表示されております。

電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
ホーム画面で  → [設定] → [デバイス情報] → [規制ラベル]

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- 自動車、原動機付自転車、自転車などを運転中の使用にはご注意ください。

法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。

- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵、耐衝撃性能

F-51Fは、スロットキャップをしっかりと閉じた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。また、MIL規格に準拠する試験※4をクリアした耐衝撃構造を採用しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに携帯電話を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に携帯電話を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。
- ※4 米国防総省が制定したMIL-STD-810H Method 516.8 Procedure IVに準拠した独自の落下試験を実施しています。

落下	高さ約1.22mから26方向で鉄板に落下させる試験
耐衝撃	40Gの衝撃を6方向から3回与える試験
防水（浸漬）	30分間にわたる水深1.5mでの浸漬試験
防塵（6時間風速有り）	連続6時間（粉塵10±7g/m ³ 、風速8.9m/s）の粉塵試験
防塵（脆弱面90分）	脆弱面に最小で90分間砂を当てる試験（90分）

塩水耐久	連続96時間（濃度5%の塩水を噴霧24時間、乾燥24時間を2サイクル）の塩水耐久試験
防湿	連続10日間（湿度95%、30～60℃）の高湿度試験
耐日射（連続）	連続24時間（合計1,120W/m ² ）の日射試験
耐日射（変化）	温度（最大49℃）と日射量（最大1,120W/m ² ）を変化させながらの日射試験（24時間サイクルで3回）
耐振動	3時間（3方向各1時間）の振動試験
防水（風雨）	30分間にわたる18m/sの降雨試験
雨滴	1mの高さから15分間雨滴を落とす試験
熱衝撃	-21～50℃の急激な温度変化において、連続3時間の温度耐久試験
高温動作（60℃固定）	動作環境：60℃の高温試験
高温動作（32～49℃変化）	温度32～49℃までの変化を3サイクル実施する高温試験
高温保管（70℃固定）	保管環境：70℃の高温試験
高温保管（30～60℃変化）	温度30～60℃まで変化させる高温試験
低温動作（-20℃固定）	動作環境：-20℃の低温試験
低温保管（-30℃固定）	保管環境：-30℃の低温試験
低圧動作	連続1時間（57.11kPa/約4,572m）の低圧試験

低圧保管	連続1時間（57.11kPa/約4,572m）の低圧試験
氷結（-10℃結露）	-10℃で結露や霧を発生させ1時間維持し、25℃、95%RHで動作確認（凍結融解）
氷結（-10℃氷結）	-10℃の冷却水で、6mm厚の氷が張るまで氷結させる試験

米国防総省の調達基準（MIL-STD-810H）の23項目、落下、耐衝撃、防水（浸漬）、防塵（6時間風速有り）、防塵（脆弱面90分）、塩水耐久、防湿、耐日射（連続）、耐日射（変化）、耐振動、防水（風雨）、雨滴、熱衝撃、高温動作（60℃固定）、高温動作（32～49℃変化）、高温保管（70℃固定）、高温保管（30～60℃変化）、低温動作（-20℃固定）、低温保管（-30℃固定）、低圧動作、低圧保管、氷結（-10℃結露）、氷結（-10℃氷結）に準拠した試験を実施しています。本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての環境での動作を保証するものではありません。また、無破損・無故障を保証するものではありません。

V FM203-F1が有する防水性能でできること

- 1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話ができます。
 - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、スロットキャップの開閉はしないでください。
 - 常温の水道水で手洗いすることができます。
 - スロットキャップが開かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
 - 規定（→P22）以上の強い水流を直接当てないでください。
 - ブラシやスポンジ、指定（→P24）以外の石鹸などは使用しないでください。
 - 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
 - 洗った後は所定の方法（→P29）で水抜きしてください。
 - 本端末は、国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使って洗うことができます（FCNT合同会社試験方法による）。上記以外（固形石鹸や粉末石鹸など）は使用しないでください。
 - 洗いかたについては「洗いかたについて」（→P27）をご参照ください。
- ※ 本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての泡タイプのハンドソープあるいは液体タイプの食器用洗剤で洗えることを保証するものではありません。
- 本端末についた泡は、やや弱めの水流（6L/分以下、常温の水道水）で、しっかりすすいでください。洗った後は乾いた清潔な布で水抜きしてください。
 - 本端末を洗う際はスロットキャップを確実に取り付けてください。

● 風呂場で使用できます。

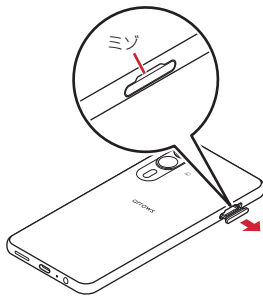
- 風呂場でご使用後は、所定の方法（→P29）で水抜きしてください。
- 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→P29）で水抜きしてください。
- 温泉や指定（→P24）以外の石鹸、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
- 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%でご使用ください（但し、温度36℃以上または湿度86%以上は一時的な使用に限ります）。なお、すべての機能の連続動作を保証するものではありません。
- 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。
- 寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むと、急激な温度変化でディスプレイやケース表面に結露が発生する場合があります。結露によりディスプレイが見にくくなったり、タッチ操作がしにくくなったりした場合は、本端末が常温になるまでお待ちください。

◆ 防水／防塵性能を維持するために

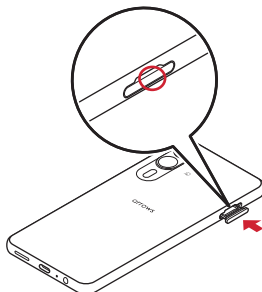
水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- nanoSIMカードやmicroSDカードの取り付け／取り外し時には、左側面のミゾに指先をかけてスロットキャップを開け、スロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出します。

※ スロットキャップを開けた後、スロットキャップを下に強く押さないでください。スロットキャップの破損の原因となります。



- 使用後はスロットキャップを矢印の方向にまっすぐ水平に差し込み、○部分をしっかり押します。本端末とスロットキャップの間にすき間がないことを確認してください。



- スロットキャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。
- イヤホンマイク端子、USB Type-C接続端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、スピーカー、セカンドマイク、スロットキャップ、通気孔などを先の尖ったものでつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- スロットキャップのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は、ドコモ指定の故障取扱拠点で有料にて承ります。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のような行為は行わないでください。

- 指定以外の石鹼／洗剤／入浴剤をつける
- ブラシ／スポンジで洗う
- 洗濯機で洗う
- 強すぎる水流を当てる
- 海水につける
- 温泉で使う
- 砂／泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- オプション品は防水／防塵性能を有していません。本端末のUSB Type-C接続端子にACアダプタを接続している状態では、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定（→P22）以上の強い水流を直接当てないでください。F-51FはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかけたり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。

- プールで使用する際は、その施設の規則を守ってください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- イヤホンマイク端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、スピーカー、セカンドマイク、通気孔に水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- USB Type-C接続端子に水滴を残さないでください。
- 本端末を洗うときは、国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使用してください。上記以外（固形石鹼や粉末石鹼など）は使用しないでください。
- 業務用・無添加・アルカリ性の泡ハンドソープあるいは業務用・無添加・アルカリ性の食器用洗剤は使用しないでください。本体が変色するおそれがあります。
- 指定（→P24）以外の石鹼、入浴剤、シャンプー、リンス、洗顔剤、メイク落とし、歯磨き粉などで洗わないでください。付着した場合はすぐに水で洗い流してください。
- 洗うときはスロットキャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機、食器洗浄機などで洗わないでください。
- スロットキャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切ってください。対処については本書巻末のお問い合わせ先までお問い合わせください。

- スロットキャップのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱い拠点にて部品をお取り替えください。端末の状態によっては有料での修理となる場合がございますので、ご注意ください。

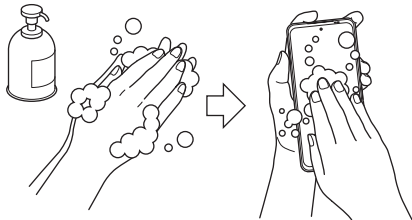
実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

◆ 洗いかたについて

本端末を洗う場合には注意事項をご確認の上、次の手順で行ってください。

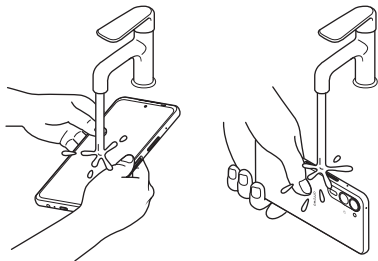
- 市販のアクセサリ商品（端末カバー、ケースなど）は取り外してください。なお、市販のアクセサリ商品の取り扱いについては、各商品の注意事項をご確認ください。
- 国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使用してください。上記以外（固形石鹸や粉末石鹸など）は使用しないでください。
- 塩素や塩素系添加物の含有量が0.05w/v%以下の液剤をご使用ください。
- 食器用洗剤を使用する場合は、各製品の使用上の注意をよくお読みの上、使用量の目安を守って洗ってください。
- 本端末に、食器用洗剤の原液を直接つけないでください。原液がついた場合はすぐに水で洗い流してください。
- 本端末を洗う際は、腕時計、指輪、付け爪などの装飾品は外してください。本体に傷がつくおそれがあります。
- 本端末を洗う際は、電源を切ってから行ってください。

- スロットキャップはしっかりと閉じてください。
- ① 泡ハンドソープまたは食器用洗剤を手にとり、泡立ててください。本端末を手のひらに乗せ、前面と背面を泡でこするように洗ってください。
 - スロットキャップが開かないように押さえたまま洗ってください。



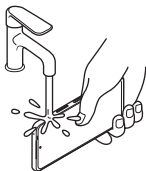
② 前面、背面、各ボタンなど、本端末についた泡が完全になくなるまですすいでください。

- やや弱めの水流（6L／分以下、常温の水道水）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で洗ってください。
- スロットキャップの開閉はしないでください。
- スロットキャップに直接水をかけないでください。

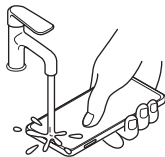


③ 受話口／スピーカー、セカンドマイク、イヤホンマイク端子、送話口／マイク、USB Type-C接続端子、スピーカー、通気孔をすすいでください。

- 受話口／スピーカー、セカンドマイク、送話口／マイク、スピーカー、通気孔に泡ハンドソープや食器用洗剤の成分が残っていると目詰まりが発生し、着信音や通話時の音質が低下するおそれがあります。また、USB Type-C接続端子は充電不良など故障の原因となります。しっかり洗い流してください。



通気孔



受話口／スピーカー



セカンドマイク



イヤホンマイク端子
送話口／マイク
USB Type-C接続端子
スピーカー

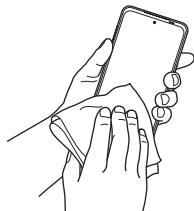
④ 水抜きをしてください。→P29

- 十分に乾燥させて、水滴が残っていないことを確認してください。

◆ 水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

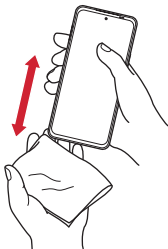
- ① 本端末をしっかりと持ち、前面、背面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



- ② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。受話口／スピーカーとフラッシュ／ライトの位置を入れ替えて同じように振ってください。
 - 本端末を振り落とさないように、しっかり握ってください。



- ③ イヤホンマイク端子、USB Type-C接続端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、スピーカー、セカンドマイク、通気孔、キーなどのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るよう押し当てて確実に拭き取ってください。



- ④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- すき間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

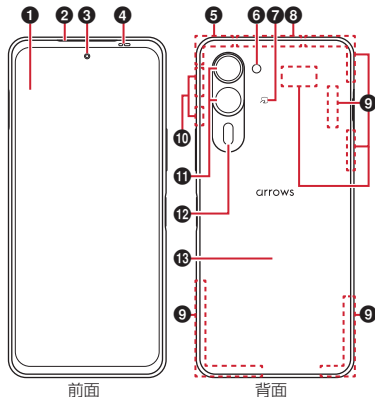
◆ 充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから充電してください。
- USB Type-C接続端子に水滴や異物が入っていないか確認の上、ご使用ください。
- ACアダプタは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。

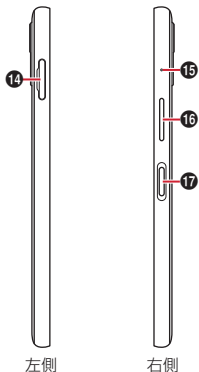
ご使用前の準備

各部の名称と機能



- ① ディスプレイ（タッチパネル）→P47
- ② 受話口／スピーカー
- ③ インカメラ→P95

- ④ 近接センサー／照度センサー ※1
通話中に顔の接近を検知してタッチパネルの誤動作を防止したり、画面の明るさの自動制御に使用したりします。
- ⑤ Wi-Fi／Bluetooth®／GPSアンテナ部※2
- ⑥ フラッシュ／ライト
- ⑦ マーク→P106
- ⑧ 5G／4G／Wi-Fi／GPSアンテナ部※2
- ⑨ 5G／4Gアンテナ部※2
- ⑩ 5G／4G／Wi-Fiアンテナ部※2
- ⑪ アウトカメラ→P95
- ⑫ 脈波センサー ※3→P121
- ⑬ 外装ケース（背面）



14 スロットキャップ※4

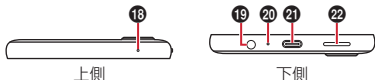
15 通気孔

16 音量キー

各種音量の調節やカメラの撮影などに使用します。

17 電源キー／指紋センサー→P40、P74、P146

電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するとき、指紋認証を利用するときに使用します。電源キーと音量キーの上を同時に押すとメニューが表示され、電源を切る、再起動、緊急通報などの操作ができます。電源キーを長押しして電源を切るように設定するには、ホーム画面で **設定** → **システム** → **動作** → **電源ボタンを長押し** → **電源ボタンメニュー** を選択します。



18 セカンドマイク※5

通話時に騒音を抑えるために使用します。また、ハンズフリー通話中は送話口として使用します。

19 イヤホンマイク端子 (防水)

20 送話口／マイク※5

21 USB Type-C接続端子 (防水)

充電時やパソコンなどの接続時に使用します。USB Power Deliveryに対応しています。

22 スピーカー

- ※1 センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりすると、誤動作したり正しく検知されない場合があります。
- ※2 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。
- ※3 センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けると、正しく検知されない場合があります。
- ※4 取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、水や粉塵の侵入を防ぐために、しっかりと閉じてください。
- ※5 保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりしないでください。

■ ご注意

- 外装ケース（背面）は取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

nanoSIMカード

nanoSIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

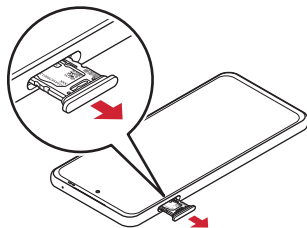
- 本端末ではnanoSIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてnanoSIMカードにお取り替えください。
- nanoSIMカードが本端末に取り付けられていないと、電話の発着信やSMSの送受信、パケット通信などの機能を利用することができません。
- 電源を入れた状態で、nanoSIMカードを取り付けたスロットキャップを抜き差ししないでください。
- nanoSIMカードの取り扱いについての詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ nanoSIMカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- nanoSIMカードの取り付けには、必ずスロットキャップを使用してください。nanoSIMカードを単体で取り付けたと、故障の原因となります。

■ 取り付けかた

- ① 本端末のディスプレイ側を上に向け、左側面にあるミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける→P25
- ② スロットキャップをまっすぐ水平に引き出す
 - スロットキャップは本端末から外れる構造になっています。

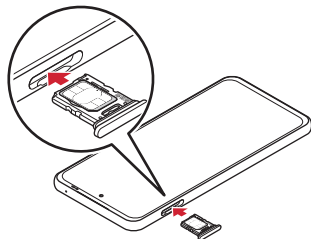


- ③ nanoSIMカードのIC面を上にして切り欠きをスロットキャップ側に向けた状態で、スロットキャップのトレイ (nanoSIMカード) にはめ込む

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- スロットキャップのトレイからnanoSIMカードが浮かないようにはめ込んでください。



- ④ 本端末のディスプレイ側が上に向いていることを確認して、左側面にあるスロットにスロットキャップをまっすぐ水平に差し込む



- ⑤ スロットキャップをしっかり押して閉じる→P25

■ 取り外しかた

- ① 本端末のディスプレイ側を上に向け、左側面にあるミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける→P25
- ② スロットキャップをまっすぐ水平に引き出す→P33
- ③ nanoSIMカードをスロットキャップのトレイから取り外す
- ④ 本端末のディスプレイ側が上に向いていることを確認して、左側面にあるスロットにスロットキャップをまっすぐ水平に差し込む→P34
- ⑤ スロットキャップをしっかり押して閉じる→P25

4 お知らせ

- nanoSIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、nanoSIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、nanoSIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- スロットキャップを挿入口に抜き差しする際は、無理に引き出したり差し込んだりしないでください。スロットキャップが破損するおそれがあります。

◆ nanoSIMカードの暗証番号

nanoSIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。→P44

eSIM

本端末は、お客様の電話番号などの情報を登録するeSIMに対応しています。

- eSIMのご利用には設定が必要です。→P127

4 お知らせ

- お客様ご自身で、eSIMに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- eSIMについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

microSDカード

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできます。

◆ microSDカードについて

- 本端末は、1TBまでのmicroSDXCカードまたはmicroSDXC UHS-Iカードに対応しています（2024年6月現在）。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードの読み込み中や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、本端末で表示、再生できないことがあります。また、本端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。

4 お知らせ

- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することがあるため、差し込まないでください。データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードを初期化（データはすべて削除されます）する必要があります。

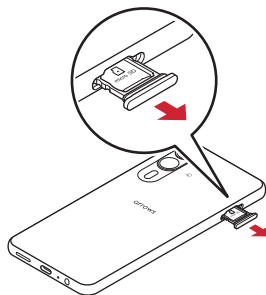
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先（元）機器の規格に準拠したmicroSDHCカードまたはmicroSDカードをご利用ください。
- 動画撮影など大容量のデータを扱うアプリを利用する場合は、高速のmicroSDカード（クラス10以上を推奨）をご利用ください。
- microSDカードのスピードクラスは、クラス10まで使用できます。
- microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス3まで使用できます。
- スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありません。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- スロットキャップにnanoSIMカードを取り付けた状態で、microSDカードの取り付け／取り外しをするときは、電源を切ってから行ってください。
- スロットキャップにnanoSIMカードを取り付けていない状態で、microSDカードの取り外しをするときは、microSDカードのマウントを解除（→P137）するか、電源を切ってから行ってください。

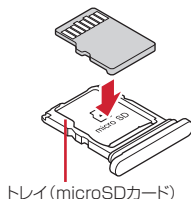
■ 取り付けかた

- ① 本端末のディスプレイ側を下に向け、左側面にあるミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける→P25
- ② スロットキャップをまっすぐ水平に引き出す

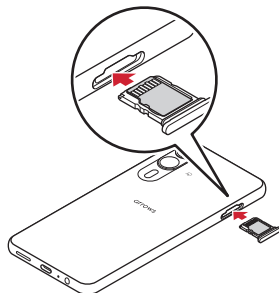


- ③ microSDカードの金属端子面を上にして端末側に向けた状態で、スロットキャップのトレイ (microSDカード) にはめ込む

- microSDカードの向きにご注意ください。
- スロットキャップのトレイからmicroSDカードが浮かないようにはめ込んでください。



- ④ 本端末のディスプレイ側が下に向いていることを確認して、左側面にあるスロットにスロットキャップをまっすぐ水平に差し込む



- ⑤ スロットキャップをしっかり押して閉じる→P25

■ 取り外しかた

- ① 本端末のディスプレイ側を下に向け、左側面にあるミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける→P25
- ② スロットキャップをまっすぐ水平に引き出す→P36
- ③ microSDカードをスロットキャップのトレイから取り外す
- ④ 本端末のディスプレイ側が下に向いていることを確認して、左側面にあるスロットにスロットキャップをまっすぐ水平に差し込む→P37
- ⑤ スロットキャップをしっかり押して閉じる→P25

4 お知らせ

- microSDカードを取り扱うときは、金属端子面に触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、microSDカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、microSDカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- スロットキャップを挿入口に抜き差しする際は、無理に引き出したり差し込んだりしないでください。スロットキャップが破損するおそれがあります。

充電

V 充電時のご注意

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがあります。充電を完了したい場合は、アプリを終了してから充電することをおすすめします。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 内蔵電池または端末の温度が充電可能な範囲外になった場合は充電エラーになります。温度が下がってから再度充電を行ってください。
- 長時間充電が完了しない場合は充電エラーになります。充電器から本端末を取り外して、充電し直してください。
- 内蔵電池の電圧に異常があると充電エラーになります。アプリを使用中の場合は、直ちに終了してください。充電器から本端末を取り外して、正しい方法でもう一度充電を行ってください。以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、充電器から本端末を取り外して、一度電源を切ってから、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 電池切れの状態での充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。

- ・充電時間については「主な仕様」をご覧ください。→ P193
- ・本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。
<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

V 内蔵電池の寿命について

- ・内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら通話などを長時間行くと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- ・「電池とデバースケア」から内蔵電池の性能（充電能力）を確認することができます。→P135
- ・1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- ・このマークはリチウムイオン電池のリサイクルマークです。
製造元 FCNT 合同会社



Li-ion 00

V ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタ、DCアダプタ、USBケーブルの取扱説明書をご覧ください。

ACアダプタ 08（別売品）：AC100Vから240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しでの充電は行わないでください。

DCアダプタ（別売品）：自動車の中で充電する場合に使用します。ご利用には、別途USBケーブル A to C 02（別売品）が必要となります。

◆ ACアダプタを使って充電

ACアダプタ 08（別売品）を使って充電する場合は次の操作を行います。

- ① ACアダプタのType-Cプラグを本端末のUSB Type-C 接続端子に水平に差し込む
- ② ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
- ③ 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
- ④ 本端末のUSB Type-C接続端子からACアダプタのType-Cプラグを水平に抜く

電源を入れる／切る

◆ 電源を入れる

- 電源を入れる前に、本端末とスロットキャップの間にすき間がないことを確認してください。

1 電源キーを押し続ける(3秒以上)

本端末が振動した後、起動画面に続いて誤操作防止用のロック画面が表示されます。

- 初めて電源を入れたときは初期設定を行います。→ P42

2 画面ロックを解除

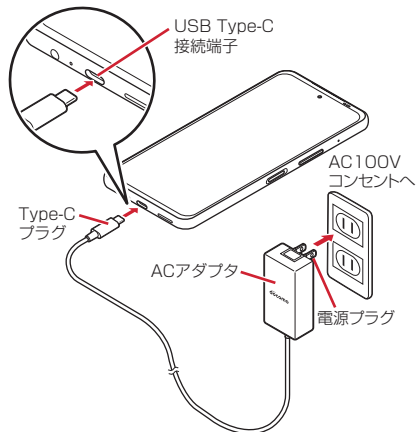
- 画面ロックの解除方法については「画面ロックの解除」をご覧ください。→P41

◆ 電源を切る

1 電源キーと音量キーの上を同時に押す

2 [電源を切る]

本端末が振動して電源が切れます。



◆ パソコンを使って充電

USBケーブル A to C 02 (別売品) などを使って、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、画面を閉じてください。

◆ スリープモード

スリープモードにすると、画面が消灯してタッチパネルの誤動作を防止したり、画面ロックをかけたりします。また、電池の消費を抑えることもできます。

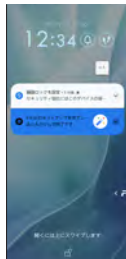
1 電源キー

4 お知らせ

- 本端末を一定時間操作しなかったときも、[画面消灯] (→P138) の設定に従ってディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。
- スリープモード中に電話着信があると、スリープモードは解除されます。

◆ 画面ロックの解除

- 1 スリープモード中に電源キー
- 2 ロック画面で $\square$ を上にはスワイプ
ロックが解除されます。



- [セキュリティ解除方法] の設定 (→P143) によっては、ロック画面をスワイプ後に認証操作になります。
- ロック画面の $\square$ を左にスライドし、 $\square$ / $\square$ / $\square$ のいずれかに指を合わせて離すとFASTメモが起動します。→P112

4 お知らせ

- ロック画面は約10秒後にスリープモードになります。

初期設定

本端末の電源を初めて入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行います。

- はじめてのご利用時にeSIMを設定する場合は、初期設定の完了後に行ってください。→P127
- Google アカウントの設定により表示される項目が異なる場合があります。

1 [日本語(日本)]を選択して[開始]

- 以降は画面の指示に従って以下の設定などを行ってください。
 - ネットワークの接続設定→P123
 - アプリとデータのコピー方法の選択
 - Google アカウント→P43
 - Google サービス
 - 画面ロックの設定→P143
 - 指紋によるロック解除とアプリ登録→P146
 - Google アシスタントの設定
 - ホーム画面選択→P64
 - 自分からだ設定→P159
 - Exlider
 - FCNTサービス利用
 - 電力オフピーク充電→P136
 - データの送信について

2 docomo初期設定画面で[次へ]

3 サービス向上のための情報利用に関するお願いを設定

4 機能の利用確認画面で[次へ]

5 画面の指示に従ってdアカウントを設定

ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。
→P43

6 あんしん設定を設定

7 各項目を設定

かんたん一括設定：本端末を便利に使うための機能・サービスを一括で設定します。

8 その他の設定項目画面で各項目を設定→[次の画面へ]

ホーム画面が表示されます。

4 お知らせ

- ホーム画面を使ってみよう！画面、機能の利用確認画面、ホームの使い方画面、あなたにおすすめのサービス画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

◆ Google アカウントの設定

Google アカウントとは、Google の各種サービスを利用するためのユーザー名／パスワードです。本端末に Google アカウントを設定することで、Gmail を利用して Eメールを送受信したり、Google Play を利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

1 ホーム画面で **⌵** → [設定] → [パスワードとアカウント]

2 [アカウントを追加] → [Google]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

4 お知らせ

- 本端末には複数の Google アカウントを設定することができます。

◆ dアカウントの設定

dアカウントとは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどでdポイントやdマーケットなどのドコモが提供するサービスを利用するときに必要なID／パスワードです。ここでは、新規でアカウントを作成する方法を説明します。

1 ホーム画面で **⌵** → [設定] → [ドコモのサービス／クラウド] → [dアカウント設定]

2 [新たにdアカウントを作成]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負い兼ねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、nanoSIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書巻末のお問い合わせ先までご相談ください。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、本書巻末のお問い合わせ先までご相談ください。

V 画面ロック用パターン／暗証番号／パスワード

画面ロックの解除時に認証操作を必要とすることで、本端末のセキュリティを確保することができます。設定できる認証操作の種類には、最低4つの点を結ぶパターン、4～16桁の数字を設定する暗証番号、4～16桁の英数字と記号で設定するパスワードがあります。→P143

V ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

V PINコード

nanoSIMカード／eSIMには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P46
PINコードは、第三者によるnanoSIMカード／eSIMの無断使用を防ぐため、nanoSIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。eSIMを使用している場合は、本端末の電源を入れるたびにPINコードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

- 別の端末で利用していたnanoSIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN

コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。eSIMを使用している場合は、eSIMの再発行により、初期設定の「0000」に戻ります。

- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります（PUKロック）。この場合は、「PINロック解除コード（PUK）」でロックを解除してください。ロックを解除しないと新しいPINコードは設定できません。
- nanoSIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、nanoSIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。eSIMを使用している場合は、PINロックまたはPUKロック画面で「eSIMを無効にする」をタップすると、ホーム画面が表示されるようになります。

V PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コード（PUK）は、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コード（PUK）はお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コード（PUK）の入力を10回連続して間違えると、nanoSIMカード／eSIMがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- nanoSIMカード／eSIMがPINロックまたはPUKロックされた場合は、nanoSIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。eSIMを使用している場合は、PINロックまたはPUKロック画面で「eSIMを無効にする」をタップすると、ホーム画面が表示されるようになります。

◆ PINコードの設定（SIMカードロック）

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1 ホーム画面で「→[設定]→[セキュリティとプライバシー]→[その他のセキュリティとプライバシー]→[SIM ロック]

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は、設定するSIMを選択します。

2 [SIM をロックする]→PINコードを入力→[OK]

4 お知らせ

- 初めてPINコードを入力する場合は、「0000」を入力してください。
- 設定を解除するには、手順2で「SIM をロックする」をOFFにします。

V PINコードの入力

1 電源を入れる→コード入力画面でPINコードを入力→

V PINロックの解除

PINコードがロックされた場合（PUKロック）は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

- 1 コード入力画面でPINロック解除コード（PUK）を入力→●
- 2 新しいPINコードを入力→●
- 3 もう一度新しいPINコードを入力→●

◆ PINコードの変更

あらかじめPINコードを設定（[SIM をロックする] をONにする）しておく必要があります。

- 1 ホーム画面で $\square$ →[設定]→[セキュリティとプライバシー]→[その他のセキュリティとプライバシー]→[SIM ロック]
 - nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は、PINコードを変更するSIMを選択します。
- 2 [SIM PINの変更]
- 3 現在のPINコードを入力→[OK]
- 4 新しいPINコードを入力→[OK]
- 5 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

基本操作

基本操作

◆ タッチパネルの使いかた

本端末は、タッチパネルに直接指を触れて操作します。

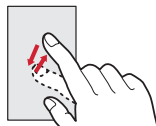
V タッチパネル利用上のご注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った操作
 - タッチパネルが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
 - 水中での操作

V タップ／ダブルタップ

タップ：画面に軽く触れてからすぐに離します。
ダブルタップ：すばやく2回続けてタップします。



例：タップ

V ロングタッチ

画面に長く触れます。画面に指を触れたまま続けて操作を行う場合もあります。

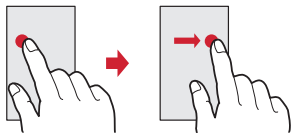
V ドラッグ／スライド（スワイプ）／パン

ドラッグ：画面の項目やアイコンに指を触れたまま、任意の位置に動かします。

スライド（スワイプ）：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。

- アプリによっては、数本の指を画面に触れたまま上下に動かしたり回転させたりして操作できます。

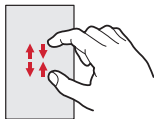
パン：Webページなどで一画面では表示しきれないときに、画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。



例：ドラッグ

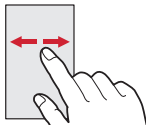
V ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。



V フリック

画面に触れた指をすばやく払います。



◆ 縦／横画面表示の自動切り替え

向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます（画面の自動回転→P138）。

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。
- パネルスイッチ（→P59）の「自動回転」でも設定できます。

◆ スクリーンショット

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

- 画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 電源キーと音量キーの下

スクリーンショットが保存され、画面左下に保存した画像が表示されます。

- ホーム画面で「フォト」をタップすると、画像を確認できます。

4 お知らせ

- 最近使ったアプリの表示中に、アプリのアイコンをタップ→「スクリーンショット」と操作しても、スクリーンショットを保存できます。→P62

V スクリーンショットの範囲を拡大する

縦長の画面の範囲を拡大して、画像として保存します。

1 電源キーと音量キーの下

スクリーンショットが保存され、画面左下に保存した画像が表示されます。

2 「キャプチャ範囲を拡大」

3 画像の枠をドラッグして範囲を指定

4 「保存」

指定した範囲のスクリーンショットが保存されます。

- ホーム画面で「フォト」をタップすると、画像を確認できます。

◆ アプリの権限

本端末の機能や情報にアクセスするアプリや機能を初めて起動すると、アクセス権限を許可するかの確認画面が表示されます。アクセス権限を許可すると、アプリや機能で該当する機能や情報を利用できるようになります。

- アプリや機能によって表示される確認画面が異なります。表示内容をよくご確認の上、操作してください。

〈例〉「かんたん電話帳」アプリを初めて起動する場合

1 ホーム画面で「→[arrows]→「かんたん電話帳」→内容を確認して[次へ]

確認画面が表示されます。

2 「許可」／「許可しない」

以降は画面の指示に従って操作してください。

4 お知らせ

- アクセス権限を許可しないとアプリや機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- アクセス権限を許可していても、アプリをしばらく使用しないとアクセス権限がリセットされ、起動時に確認画面が表示される場合があります。
- 権限の設定を変更するには、ホーム画面で「→[設定]→[アプリ]→「XX個のアプリをすべて表示」→アプリを選択→「権限」→変更する権限を設定します。

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

- ここでは、主にSuper ATOK ULTIASでの入力方法について説明します。
- 他の入力方法に切り替えることもできます。→P53
- 外付けキーボードを接続して入力ができます。→P55

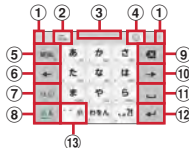
◆ キーボードの使いかた

テンキーキーボード、QWERTYキーボード、手書き入力
で文字を入力できます。

- 各キーボードから、音声入力を起動できます。→P51
- 上書き手書き入力が有効に設定されているときは、テンキーキーボードやQWERTYキーボードが表示されている状態で手書き入力ができます。→P53

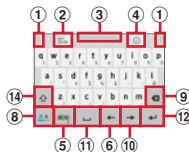
■ テンキーキーボード

- 1つのキーに複数の文字が割り当てられています。
- フリック入力、ケータイ入力、ジェスチャー入力、2タッチ入力から入力方式を選択できます。→P52



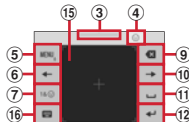
■ QWERTYキーボード

ローマ字入力を入力します。



■ 手書き入力

手書きで文字を入力します。



- 設定や状況により、表示が変わるキーがあります。

- ① 左右にドラッグしてキーボードの横幅を調整
- ② 上書き手書き入力の有効／無効
- ③ 上下にドラッグしてキーボードの高さを調整
- ④ 数字／記号／顔文字／絵文字一覧の表示
- ⑤ : メニューの表示

- メニューを表示すると、次の操作ができます。

テンキー: テンキーキーボードへ切り替え

QWERTYキー: QWERTYキーボードへ切り替え

手書き: 手書き入力へ切り替え

上書き手書き: 上書き手書き入力の有効／無効

定型文: 定型文の表示

記号・顔文字・絵文字：数字／記号／顔文字／絵文字一覧の表示

テーマ切替：キーボードテーマの切り替え

引用アプリ：電話帳の引用、arrows passportの引用

〔設定〕をタップすると、キーを上フリックしたときに起動するアプリを選択できます。

arrows passport：arrows passportの引用

設定：Super ATOK ULTIASの設定→P53

- 上にフリックすると設定した引用アプリを起動します。右にフリックして郵便番号を入力→〔変換〕をタップすると、郵便番号に対応した住所を入力できます。

🗨️(ロングタッチ)：音声入力の起動

- 音声入力を起動すると、画面右上に数秒間  が表示されます。

↩️：キーに割り当てられた文字を逆順に表示

⑥ カーソルを左に移動

- テンキーキーボード、手書き入力では、上下にフリックするとカーソルを上下に移動、右にフリックするとカーソルを右に移動します。QWERTYキーボードでは、上にフリックするとカーソルを上移動、右にフリックするとカーソルを下移動します。

⑦ 数字／記号／顔文字／絵文字一覧の表示

⑧ ：かな／英字入力モードの切り替え

：かな／英字／数字入力モードの切り替え

：かな／数字入力モードの切り替え

⑨ Backspace（カーソルの左側の文字を削除）

- 文字確定後にキーを上フリックするとカーソルの右側の文字を削除、左にフリックするとカーソルの左側にある文字を全削除します。

- 文字確定後に削除した文字を元に戻すには、キーを下フリックします。

⑩ カーソルを右に移動

- テンキーキーボード、手書き入力では、上下にフリックするとカーソルを上下に移動、左にフリックするとカーソルを左に移動します。QWERTYキーボードでは、上にフリックするとカーソルを上移動、左にフリックするとカーソルを下移動します。

⑪ ：空白の入力

- 上にフリックすると、全角入力時は半角の空白、半角入力時は全角の空白を入力します。

：文字の変換

⑫ ：確定または改行

：確定

：次の入力欄へカーソルを移動

：検索

：実行

⑬ ：小文字／大文字の切り替え、濁点／半濁点をつける

：英字の大文字と小文字の切り替え

⑭ シフトキー

シフトなし () / シフト () / シフトロック

()：小文字／最初の1文字のみ大文字／大文字の切り替え

- キーに割り当てられた記号も切り替わります。

⑮ 手書き入力領域：指で文字を書いて入力

- 文字を入力すると、入力領域の上部に認識された文字が表示されます。認識された文字をタップして表示される補正候補一覧から文字を選択できます。補正候補一覧の上で文字を書き直すこともできます。

⑯ ：テンキーキーボードまたはQWERTYキーボードに戻る

4 お知らせ

- キーボードを非表示にするには、をタップします。再度キーボードを表示するには、文字入力欄をタップします。
- 変換候補にない単語を入力して確定したとき、②の位置にが表示される場合があります。をタップすると入力した単語をユーザー辞書に登録できます。
- パスワードなどの入力画面では、入力画面とarrows passportで登録したID（アカウント）やパスワードなどを関連付けし、引用入力することができます。キーボード上部に表示された「arrows passportを使う」をタップし、arrows passportに認証情報を登録した後「新規に登録する」をタップして入力画面と関連付けします。引用入力する場合は、「arrows passportを使う」をタップします。IDやパスワードなどの入力欄によっては、「arrows passportを使う」が表示されない場合があります。表示されない場合は、ULTIASキーボードの→「arrows passport」から一覧画面を表示して、項目を選択すると引用入力されます。

V テンキーキーボードの入力方式

テンキーキーボードでは、次の4つの入力方式を利用できます。

- 「テンキー」で入力方式を選択して利用します。→P53

■ フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、フリックした後を目的の文字の方向にフリックします。

■ ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、タップした後を1回または2回タップします。

■ ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音／促音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。



例：「ば」を入力する場合

- 英字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字の切り替えができます。

■ 2タッチ入力

1回目に入力したい文字が割り当てられているキーをタップし、2回目に目的の文字をタップします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、タップした後を1回または2回タップします。

◆ 入力方法の切り替え

1 文字入力中にナビゲーションバー(→P56)の

2 入力方法を選択

◆ 文字入力の設定

入力方法ごとに各種設定ができます。

1 ホーム画面で→[設定]→[システム]→[キーボード]

2 [画面キーボード]

画面キーボード一覧画面が表示されます。

3 [Gboard]／[Super ATOK ULTIAS]／[Google音声入力]

4 各項目を設定

・設定できる項目は、入力方法により異なります。

V Super ATOK ULTIASの設定

各キーボードの入力中の動作やデザインなどについて設定します。また、単語の登録（ユーザー辞書）や定型文の編集、設定の初期化などもできます。

1 ホーム画面で→[設定]→[システム]→[キーボード]→[画面キーボード]→[Super ATOK ULTIAS]

2 各項目を設定

ULTIASオススメ機能：選べるキーボード、スマホ入力（フリック）学習モード、ATOK キーワード Express（有効にする、ジャンルの選択、更新を通知、今すぐ受信、自動受信、受信間隔、Wi-Fi接続時のみ受信）を設定します。

操作音・パイプ：キー操作音、キー操作パイプを設定します。

デンキー：入力方式（フリック入力／ケータイ入力／ジェスチャー入力／2タッチ入力）、フリック入力（フリックガイド、フリック感度、「や」キーフリック、修飾キーフリック、英字キーフリック）、ケータイ入力の有効化、自動カーソル移動（自動カーソル移動、自動カーソル移動の速度）、ジェスチャー入力（ジェスチャーガイド、ジェスチャー感度、タッチ位置を中心に表示、高速表示、高速で閉じる、ジェスチャーガイドの表示時間、「や」キージェスチャー）、数字は確定入力を設定します。

QWERTYキーボード：英字は確定入力、数字キー表示（縦画面、横画面）を設定します。

手書き入力：上書き手書き入力（デンキー、QWERTYキーボード）を設定、手書き説明を確認します。

共通設定：ひらがな入力時／英字入力時／数字入力時のキーボードの選択、使用するキーボード、MENUフリックの引用アプリ選択、推測変換、未入力時の推測候補表示、学習機能、スペースは半角で出力、自動スペース入力、文字削除キー、機能フリックガイド、バックキー、自動全画面化（横画面）、ハードキーボードを優先、マルチタッチを設定します。

・アプリによっては、文字入力時に推測変換候補が表示されません。

- [自動全画面化（横画面）] を有効に設定しても、アプリによっては全画面表示にならないものがあります。

変換候補一覧の表示：文字サイズ、候補の表示行数（縦画面、横画面）、表現モード、句読点の表現、推測訂正候補の表示、校正支援の表示を設定します。

デザイン：選べるキーボード、テーマ、ダークモード連動、キーボードのサイズ調整（キーボードのサイズ調整、テンキー（縦画面／横画面）、QWERTY（縦画面、横画面）、手書き（縦画面／横画面））、キーボードサイズ調整バー、フローティングキーボード（縦画面、横画面）を設定します。

- [フローティングキーボード] の [横画面] を有効に設定しても、全画面表示のときはフローティングキーボードが無効になります。

ユーティリティ：ユーザー辞書の登録／編集、定型文の登録／編集、ATOK Sync（有効にする、共有した単語の確認、今すぐ更新、自動更新、更新間隔、Wi-Fi接続時のみ実行）、設定のエクスポート／インポート（設定のエクスポート、設定のインポート）、一括エクスポート／インポート（一括エクスポート、一括インポート）を設定します。

初期化：設定の初期化、学習データの初期化を行います。

- [設定の初期化] を実行しても学習データや編集したユーザー辞書／定型文は削除されません。

オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

Super ATOK ULTIAS：Super ATOK ULTIASのバージョンを確認します。

◆ 音声入力

音声入力に切り替えて、音声で文字を入力できます。

- 1 キーボード上部の左端にある （メニュー）をロングタッチ
音声入力に切り替わります。
- 2 「なんでも話してみてください」と表示されたら、送話口／マイクに向かって入力する内容を話す

◆ テキスト編集

文字入力欄、Webサイト、受信メールなどのテキストコピー、文字入力欄でのテキストの切り取り、貼り付けの操作ができます。

- アプリの種類によって、操作方法が異なる場合があります。

V テキストのコピー／切り取り

1 テキストをロングタッチ

選択された語句がハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをドラッグすると選択範囲を調節できます。
- すべてを選択するには、[すべて選択] をタップします。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。
- Webサイトによっては、リンクをロングタッチして表示されるメニューから [リンクテキストをコピー] などの操作ができます。

2 [コピー]／[切り取り]

4 お知らせ

- テキストをロングタッチし、[共有] をタップすると、選択したテキストをアプリで送信できます。
- 表示中のテキストによっては、本機能を利用できない場合や、表示されるメニューが異なる場合があります。

V テキストの貼り付け

1 貼り付け位置をロングタッチ→[貼り付け]

カーソル位置にテキストが貼り付けられます。

- 貼り付け位置にテキストが入力されている場合は、貼り付ける位置をタップ→カーソルのつまみをタップ→[貼り付け] をタップします。

◆ 外付けキーボードの利用

本端末とBluetoothキーボード (HID／SPP) やUSBキーボードを接続して文字入力ができます。

- Bluetoothキーボードの接続方法については、「Bluetooth機器との接続」をご覧ください。→P170

V 外付けキーボードの設定

- 外付けキーボードが接続されていると、キーボードが表示されます。

1 ホーム画面で王→[設定]→[システム]→[キーボード]

2 [物理キーボード]→任意のキーボードとキーボードのレイアウトを選択

V 画面キーボードの表示

外付けキーボードが接続されているときにソフトウェアキーボードを表示するかを設定できます。

1 ホーム画面で王→[設定]→[システム]→[キーボード]

2 [物理キーボード]→[画面キーボードの使用]をタップしてON／OFFを設定

V キーボードのショートカット表示

接続した外付けキーボードで利用できるショートカットを表示します。

1 ホーム画面で王→[設定]→[システム]→[キーボード]

2 [物理キーボード]→[キーボード ショートカット]

画面表示／アイコン

◆ ナビゲーションバー

画面下部のナビゲーションバーには、画面を操作するためのアイコンが表示されます。



■ バックアイコン

タップ：直前の画面に戻る、アプリの終了

■ ホームアイコン

タップ：ホーム画面に戻る→P64

ロングタッチ：Google アシスタントの起動

■ 履歴アイコン

タップ：最近使ったアプリの表示→P62

4 お知らせ

- ナビゲーションバーの動作を「ジェスチャーナビゲーション」に切り替えることもできます。→P162

◆ ステータスバーのアイコン

画面上部のステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンでさまざまな状態を確認できます。



■ 主な通知アイコン

- 新着 Gmail→P90
- 新着ドコモメール→P84
- 新着＋メッセージ→P84
- Wi-FiがONでWi-Fiネットワークが利用可能→P123
- 不在着信→P78
- 伝言メモあり→P79
- 留守番電話サービスの伝言メッセージ→P79
- データのアップロード／ダウンロード
- radiko+FMの使用→P109
- アラームの鳴動中／スヌーズ中／設定時刻2時間以内→P116
- ララしあコネクトの通知あり→P110
- 心拍数の自動測定中→P110
- ララしあコネクトの心拍数の設定で「自動測定」をONにすると、心拍数の自動測定中に点滅してお知らせします。
- ドコモデータコピーの通知あり→P119
- ソフトウェアアップデート→P188
- 位置提供設定ON→P158
- おまかせロック設定中
- 本端末のメモリの空き容量低下
- エラー／警告メッセージあり
- カメラが自動的に終了→P95

●: 表示しきれない通知あり

■ 主なステータスアイコン

■: 電波状態 (4段階表示)

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、電波状態表示がそれぞれのSIMに対して表示されます。左側がnanoSIMカード、右側がeSIMに関する表示です。

■: 圏外

■: 音声サービスのみが利用できないまたは利用準備中の状態

■: 通信状態の悪い、またはインターネット未接続のモバイルネットワークに接続中→P127

■: 国際ローミング中

■: 5G / 4G+ / 4G / 3G / 2G: 5G / 4G (LTE) / 3G / GSM使用可能※

- 通信中は△ (アップロード時) ▽ (ダウンロード時) が白く表示されます。

- 日本国内では、3G / GSMはご使用いただけません。

※ 本端末は、LTE接続時は常に「4G+」が表示されます。

■: 機内モード設定中→P129

■: Wi-Fi接続中 (4段階表示) →P123

- 通信中は△ (アップロード時) ▽ (ダウンロード時) が白く表示されます。

- 数字は、接続中のWi-Fi規格を表しています。

■: インターネット未接続のWi-Fiネットワークに接続中→P123

■: Wi-Fiテザリングが有効→P129

■: Bluetooth機器接続中→P170

■: 本端末におまかせロックを設定中

■: スピーカーフォンON→P77

■: マイクミュート→P77

■: バイブレーション設定中に、「バイブレーションモードのときにアイコンを常に表示」をON→P140

■: ミュート設定中→P141

■: アラーム設定中→P116

- 通知パネルを開くと表示されます。→P58

■: GPS測位中→P112

■: 電池残量0~20%

■: 電池残量21~30%

■: 電池残量31~100%※

※ 電池残量に応じてアイコンの残量表示部分が変化します。

■: 充電中→P38

■ (白): 持ってる間ON設定中 (動きを検出して画面点灯中) →P137

■ (グレー): 持ってる間ON設定中→P137

■: VPN接続→P131

■: かな入力モード→P50

■: 英字入力モード→P50

■: 数字入力モード→P50

■: 手書き入力モード→P50

■: 数字 / 記号 / 顔文字 / 絵文字、定型文入力→P50

●: 表示しきれない通知あり

◆ 通知パネル

ステータスバーを下方方向にフリックすると、通知パネルを開くことができます。通知パネルでは、通知アイコンの情報を確認したり設定を行ったりできます。

1 ステータスバーを下方方向にフリック



① パネルスイッチ

- パネルスイッチの一部が表示されます。→P59
- パネルスイッチをタップすると、機能や設定のON/OFFを切り替えることができます。
- パネルスイッチを下方方向にフリックすると、表示されていないパネルスイッチを表示することができます。→P59

② 通知

- 通知をタップすると、詳細を確認したり、対応するアプリを起動したりすることができます。
- 通知をロングタッチすると、通知設定をすることができます。

③ 管理／履歴

- 「管理」が表示されているときは、通知のあったアプリが表示され、通知のON/OFFを切り替えることができます。
- 通知履歴がONに設定されているときは、「履歴」が表示されて、通知履歴を表示できます。

④ すべて消去

- 通知をすべて削除して通知パネルを閉じることができます。
- 通知の内容によっては削除されない場合や「すべて消去」が表示されない場合があります。

4 お知らせ

- 通知パネルを閉じるには、通知パネルを上方方向にフリック、または $\blacksquare$ (バックアイコン)をタップします。
- 不在着信の通知の下に表示されている「発信」[メッセージ]をタップして、電話をかけたりSMSを送信したりできます。

◆ パネルスイッチ

ステータスバーを2本指で下方向にフリックすると、パネルスイッチを開くことができます。パネルスイッチをタップして、機能や設定のON/OFFを切り替えることができます。

1 2本指でステータスバーを下方向にフリック



① 画面の明るさのレベル

スライダーをスライドして明るさを調整できます。

② パネルスイッチ

パネルスイッチをタップすると、機能や設定のON/OFFを切り替えることができます。パネルスイッチをロングタッチすると、対応する設定メニューが表示されます。

- インターネット：→P123
- Exliser：→P152
- アクセスポイント：→P129
- Bluetooth：→P170
- 自動回転：→P138

- マナー：マナーモードを設定／解除します。
- 伝言メモ：→P79
- ライト：ライトをON/OFFにします。
- ダイレクト給電：電池を充電せず、本端末に直接電力を供給します。
- メモリクリーナー：→P136
- はっきり文字：→P152
- 拡大鏡：拡大鏡（アウトカメラ）を起動して、文字などにかざして拡大表示します。画面をピンチアウト／ピンチインして倍率を変更したり、ライトのON/OFFを設定したりできます。
- ブルーライトカット：画面から発せられる青い光を弱くするかを設定します。
- Dolby Atmos：Dolby AtmosをON/OFFにします。
- Quick Share*1：本端末の近くにあるデバイスとファイルを共有できます。
- 機内モード：→P129
- 画面のキャスト：→P174
- スクリーン レコード：本端末の画面を録画します。
- デバイス コントロール：本端末に接続されているスマートホームデバイス（市販品）などをコントロールします。
- 手袋タッチ：→P142
- ダークモード：→P137
- おやすみ時間モード：就寝時間に妨げとなる通知を一時停止したり、画面をモノクロにしたりします。
- 位置情報：→P114
- QRコードスキャナ：QRコードを読み取ります。
- セキュリティとプライバシー：セキュリティとプライバシーに関する設定をします。
- サイレントモード*2：→P140
- アラーム*2：→P116

- ウォレット※2：店舗でのお支払いや交通機関の利用も、ポイントカードでのショッピングも、航空機への搭乗も、すべてスマートフォンだけで行うことができます。
 - バッテリーセーバー※2：→P136
 - 色反転※2：色の反転をON/OFFにします。
 - データセーバー※2：アプリのバックグラウンドでのデータ通信を制限します。
 - さらに輝度を下げる※2：→P141
 - 色補正※2：色補正をON/OFFにします。
 - NFC／おサイフケータイ※2：→P172
欧州／北米エリアで充電中はNFCを利用できないため、ON/OFFを操作できません。
 - 片手モード※2：→P162
 - マイクへのアクセス※2：→P148
 - カメラへのアクセス※2：→P148
 - フォントサイズ※2：文字のサイズを変更します。
 - FAST フィンガーランチャー※2：→P147
 - ストレージ※2：→P168
 - フォーカスモード※2：集中の妨げになるアプリを一時停止します。
 - 自動字幕起こし※2：音声を検出されると字幕が表示されます。
 - 電卓※2：→P118
 - グループの通知設定※2：+メッセージのグループの通知設定をON/OFFにします。
- ※1 使用状況によって表示が異なる場合があります。
 ※2 利用するには、パネルスイッチに追加する必要があります。→P60

③ 実行中のアプリ

バックグラウンドで実行中のアプリを確認できます。

④ 通信事業者

⑤ 編集

パネルスイッチをロングタッチしたままドラッグして、削除や追加をすることができます。編集画面で「リセット」をタップすると、編集内容をリセットできます。

⑥ インジケーター

パネルスイッチのページ枚数と現在表示位置を示します。

⑦ 設定

設定メニューを表示することができます。→P122

⑧ 電源メニュー

電源を切る、再起動や緊急通報などの操作ができます。
→P32

4 お知らせ

- パネルスイッチを閉じるには、パネルスイッチを上方向にフリック、または (バックアイコン) をタップします。

◆ スライドイン機能の使いかた

画面の端にあるスライドスポット（スライドを始める位置）から指をスライドすることで、スライドインランチャーを呼び出すことができます。

- スライドイン機能の設定については、「スライドイン機能」をご覧ください。→P153

V スライドインランチャー

スライドインランチャーに登録されたショートカットからアプリを起動します。

1 スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、スライドインランチャーのショートカットで指を離す

- スライドイン機能をONにすると、画面の右上のスライドスポットにスライドインランチャーが設定されます。
- スライドインランチャーと同時に呼び出される $\square$ の位置で指を離すと、スライドイン機能を設定できます。

2 目的の操作を行う

4 お知らせ

- スライドスポットをロングタッチして、画面右端（スライドスポットが左側の場合、画面左端）に沿って上下にスライドすると、スライドスポットの位置を変更できます。

V キャプメモ

表示されている画面をキャプチャして、画像として編集したり、他のアプリと共有したりできます。

- 画面によってはキャプチャできない場合があります。

1 スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、スライドインランチャーの $\square$ で指を離す

2 目的の操作を選択

画像を編集： ツールをタップして編集操作を行う→
【保存】

- 画像は、フォト（→P103）などで確認できます。
- 描画ツールで画像に文字や絵などを手書きしたり、トリミングや拡大／縮小したりできます。

他のアプリと共有：【共有】→アプリを選択→画面の指示に従って操作

- 【共有】の隣に表示されているアプリアイコンをタップしてもアプリを起動できます。

V なぞってコピー

画面を指でなぞって選択した文字列を、コピーしたり他のアプリと共有したりできます。

1 スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、スライドインランチャーので指を離す

2 コピーしたい文字列を指でなぞる

認識された文字にマーカーが引かれ、プレビュー表示されます。

- プレビューをタップするとキーボードが表示され、文字を編集することができます。
- 選択した文字列や背景画像によっては、正しく認識されない場合があります。

3 目的の操作を行う

文字列をコピー：[コピーする]

- /をタップして、プレビューの表示／非表示を切り替えられます。[クリア]をタップすると、文字列の選択が解除されます。

他のアプリと共有：貼り付け先のアプリを選択

- 選択した文字列によって、表示されるアプリが異なります。

タスク管理

 (ホームアイコン) をタップするなどしてアプリの操作を中断すると、バックグラウンドで起動したままの状態になる場合があります。また、操作によっては複数のアプリが実行中の状態になることがあります。本機能で実行中のアプリを確認したり、表示を切り替えたり、終了したりできます。

1  (履歴アイコン)

最近使ったアプリが表示されます。

- 画面を左右にフリックして、表示したいアプリのサムネイルをタップすると、アプリを切り替えることができます。
- サムネイルを上フリックするとアプリを終了できます。すべてのアプリを終了するには、[すべてクリア]をタップします。
- アプリのアイコンをタップ→[スクリーンショット]をタップするとサムネイルが表示されているアプリのスクリーンショットを保存します。→P49
- [アプリピン止め]をタップすると、サムネイルが表示されているアプリを固定する設定画面が表示され、[使う]をタップすると、アプリが固定されます。電源キーを押すとアプリの固定が解除されます。[解除時に認証を求める]を設定している場合は、電源キーを押した後に認証操作を行ってください。

4 お知らせ-----

- [アプリ固定機能を使用] (→P151) をONにしている場合は、サムネイルのアプリアイコンをタップ→[固定]

→ [OK] をタップすると、アプリを固定して他のアプリを利用できないようにすることができます。

画面表示の拡大

本端末には、画面の表示を見やすくする拡大機能があります。用途に合わせてご利用ください。

■ はっきり文字

文字やアイコンのサイズなどを自動で調節して、常にはっきり見えるように拡大します。

拡大表示タイミング：設定を有効にしている間

設定方法→P152

分割画面

画面を2分割して、それぞれの画面で異なる2つのアプリを同時に操作できます。

- 表示するアプリをあらかじめ起動しておいてください。
- 分割画面に対応していないアプリは、本機能で表示できません。

1 □(履歴アイコン)

最近使ったアプリが表示されます。

2 表示するアプリのアイコンをタップ→[分割画面]

3 画面下側で表示するアプリのサムネイルをタップ

- アプリがサムネイル表示されていない場合は、 (ホームアイコン) をタップして表示するアプリを起動してください。

4 お知らせ

- 分割画面は、縦画面表示では上下、横画面表示では左右に分割して表示されます。
- 画面中央の を画面上部または下部（横画面表示の場合は左端または右端）までドラッグすると、分割画面を終了できます。

ホーム画面

ホームアプリの切り替えかた

□(ホームアイコン) をタップして表示される画面 (ホーム画面) を変更します。本端末には「docomo LIVE UX」「arrowsホーム」「シンプルホーム」の3種類のホームアプリが用意されています。

1 ホーム画面で **⌵** → [設定] → [ホーム画面設定]

2 [ホーム画面切替] → 切り替えるホームアプリを選択

4 お知らせ

- ホームアプリによっては、ホームアプリを切り替えたとロック画面の壁紙が変更される場合があります。

docomo LIVE UX

ドコモが提供するホームアプリです。ホーム画面を直感的にカスタマイズすることができます。

docomo LIVE UXの詳細については、ホーム画面で **⌵** → [ヘルプ] を参照するか、以下のホームページをご覧ください。

https://www.docomo.ne.jp/service/live_ux/index.html

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、アプリを起動したり、ウィジェットを利用したりすることができます。すべてのアプリはアプリ一覧に格納されており、アプリアイコンショートカットがホーム画面に配置されます。

- ホーム画面を左右にフリックするとページを切り替えられます。
- アプリの通知があるとき、アイコンやフォルダの右上にドット (点) または数字が表示される場合があります。



① ウィジェット

- ウィジェット (Google 検索) を起動できます。

② マチキャラ

- タップすると知りたいことに対話で応えてくれます。

③ アプリアイコンショートカット

- タップすると、アプリを起動できます。
- ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。アプリによっては、表示されたアイコンをロングタッチして任意の場所までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。

④ インジケーター

- ホーム画面のページ枚数と現在の表示位置を示します。
- ※ 画面をフリックする時のみ表示されます。

⑤ ドック

- ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。

⑥ アプリ一覧ボタン

- すべてのアプリを表示します。アプリを検索できます。

⑦ カスタマイズエリア

- アプリ、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。

⑧ フォルダ

- 複数のアプリアイコンなどが格納されています。

⑨ SmartNews for docomo

- SmartNews for docomoを表示します。→P71

ホーム画面の管理

◆ アプリアイコンなどの移動

1 ホーム画面で移動するアイコンやウィジェットなどをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグ

- ホーム画面の端までドラッグすると、隣のページへ移動できます。

◆ アプリアイコンを追加

1 ホーム画面で $\square$ →ホーム画面に追加したいアイコンをロングタッチ

2 [ホーム画面に追加]

- ホーム画面の端までドラッグすると、隣のページへ移動できます。
- 同じアイコンを複数貼り付けることも可能です。

◆ アプリアイコンをホーム画面から削除

1 ホーム画面で削除するアイコンをロングタッチ

2 画面上部の[削除]までドラッグまたは[×ホーム画面から消す]をタップ

- ホーム画面からアイコンは削除されますが、アプリ自体はアンインストールされません。

◆ ウィジェットなどの削除

- 1 ホーム画面で削除するウィジェットなどをロングタッチ
- 2 画面上部の[削除]までドラッグ

◆ アプリのアンインストール

- 1 ホーム画面でアンインストールするアプリアイコンをロングタッチ
 - フォルダ内のアプリをアンインストールする場合は、フォルダをタップしてからアンインストールするアプリをロングタッチします。
- 2 画面上部の[アンインストール]までドラッグまたは[アンインストール]をタップ→[OK]
 - アプリをアンインストールできない場合、[アンインストール] は表示されません。
 - アンインストールすると、アプリ一覧からもアプリが削除されます。

◆ フォルダ名の変更

- 1 ホーム画面でフォルダを選択
- 2 フォルダ名をタップ
- 3 フォルダ名を入力
 - キーボードに表示される[確定]をタップします。

◆ ホーム画面の設定

- 1 ホーム画面のアイコンなどが無い部分をロングタッチ→[ホーム設定]
- 2 項目を選択

通知ドット：アプリにお知らせがあるときのドット（点）のON/OFFなどができます。

ホーム画面にアプリのアイコンを追加：新しいアプリをインストールした際に、ホーム画面に自動でアイコンを貼り付けるか、アプリ一覧のみに表示するか選択できます。

※ デフォルトではインストールしたアプリはアプリ一覧の最後に表示されます。

ホーム設定アイコン：ホーム画面上ののON/OFFができます。

壁紙設定：ホーム画面とロック画面の壁紙を変更できます。

マチキャラ設定：マチキャラのON/OFFや、キャラ変更等マチキャラに関する設定ができます。

my daiz NOW表示設定：ホーム画面の一番左にあるmy daiz NOWの表示設定ができます。

上スワイプ操作設定：上フリック起動アプリのON/OFFやアプリの設定ができます。

ホームの使い方：ホーム画面のチュートリアルを確認できます。

ヘルプ：ホーム画面の詳しい使いかたを確認できます。

アプリ一覧画面

ホーム画面で「**+**」をタップすると表示されます。アプリ一覧画面ではアプリの並び替えやフォルダの作成、アプリ名でアプリを検索することができます。また、今のあなたにおすすめのアプリを厳選してみることができます。



① アプリ検索バー

タップすると文字入力でアプリを検索することができます。

② アプリ一覧設定

アプリ一覧上のすべてのアプリの並び替え方法を変更できます。手動またはソート（つけた順、アプリ名順、インストール順）を選択できます。

◆ アプリ一覧

- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。
- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。

インストールされているアプリは次のとおりです。

【新】スマホ故障診断：「電池がすぐなくなる」「おサイフケータイが使えない」など、故障かな？と思ったときに、いつでもどこでもスマホやタブレットの故障有無を診断できるアプリです。診断結果にもとづいた改善提案やお手続き方法もご案内します。

+メッセージ：携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージを送受信できるメッセージングアプリです。テキスト以外にも画像や動画、スタンプ等を送ることができます。→P84

Adobe Photoshop Express：Adobe Photoshop Expressを利用できます。

Amazon ショッピング：Amazonでよりお得に、より便利にオンラインショッピングをご利用いただける公式アプリです。

arrows passport：ID（アカウント）やパスワードなどの認証情報を登録して管理します。→P150

arrows ポータル：FCNT製スマートフォンをお使いの方のための会員サービスです。サポート情報、使い方をアップデートするコンテンツをお届けします。La Member's 会員サービスへ登録・ログインいただくと、FCNTの独自ポイント「La Point」を貯められるほか、お得なキャンペーンにご参加いただけます。→P108

Chrome：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。→P91

Disney DX：Disney DX（ディズニー DX）は、お得な特典や、ディズニープラスをもっと楽しむための豊富なコンテンツが楽しめるいただけるアプリです。

ドコモからディズニープラスに入会いただくことですべての機能のご利用が可能です。

dcard：dカードのご利用明細、たまったdポイント、おトクな情報のエントリーを確認できるアプリです。また、ドコモが提供する電子マネー「iD」の設定ができます。

d払い：ドコモが提供するスマホ決済サービス「d払い」を利用するためのアプリです。対象の街のお店で、アプリに表示されたバーコードを提示するだけで、お買い物をすることができます。

dフォト：スマホやパソコンにある写真・動画を「無料で5GBまで」ドコモのクラウドにお預かりするサービスです。撮影した写真をフォトブックにする「プリントサービス機能」のご利用には、別途お申し込みとdフォト プリントアプリのインストールが必要です。

dポイント：dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。

dマーケット：音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトなどさまざまなサービスを提供しています。

dマーケットの詳細については、以下のホームページをご覧ください。

<https://dmarket.docomo.ne.jp/common/about/index.html>

dメニュー：「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューは、ドコモのさまざまなコンテンツやサービスにアクセスすることができるポータルサイトです。→P104

Dolby Atmos：Dolby Atmosの設定を行います。

Exlider：Exliderの使い方の説明と操作体験ができます。

Facebook：Facebookは、人とのつながりを深めたり、今世界で何が起こっているかを知ることができます。

FASTメモ：すばやくメモ（テキスト・音声）や写真をとることができるアプリです。→P112

Files：本端末やmicroSDカードなどのデータを管理できるアプリです。→P168

Gmail：Google や一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。→P90

Google：本端末内やWebサイトを検索します。→P118

Google TV：映画などを購入またはレンタルして視聴できます。ダウンロードして好きなときに視聴することもできます。

iDアプリ：ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざしてショッピングができます。→P108

Kindle：Amazonで購入した書籍を読むための電子書籍リーダーアプリです。

Meet：ビデオ通話ができます。

my daiz：出発時間に合わせて天気や電車の遅延を知らせたり、さまざまな問いかけに对话で応えてくれるサービスです。

あなたに合ったタイミングで、あなたに合った情報をお届けします。

Play ストア：Google Play を利用できます。→P104

radiko+FM：地上波のラジオ音声を、そのまま同時に放送エリアに準じた地域に配信するサービスです。FMラジオにも対応しています。→P109

SmartNews for docomo：世の中で「いま」起きていることや、あなたの生活に役立つ、良質な身近な情報を毎日お届けするニュースアプリです。→P71

ULTIASオススメ機能：選べるキーボード、スマホ入力（フリック）学習モード、ATOKキーワードExpress（有効にする、ジャンルの選択、更新を通知、今すぐ受信、自動受信、受信間隔、Wi-Fi接続時のみ受信）、その他のULTIAS設定を設定します。→P53

YouTube：YouTube™ の動画を再生できます。

YT Music : YouTube Music の音楽を再生します。

洗い方説明 : 本端末の洗い方を確認できるアプリです。

あんしんセキュリティ : 無料で使えるウイルス対策機能に加え、危険サイト、危険Wi-Fi、迷惑電話などのセキュリティ対策や、ダークウェブモニタリングをご利用いただけるアプリです。

おサイフケータイ : 複数の登録済みおサイフケータイ対応サービスを、一覧で表示できるアプリです。おすすめサービスの登録や登録済みサービスの残高、ポイントの確認もできます。→P106

おすすめアプリ : おすすめアプリの設定ができます。

オススメ機能 : シンプルモードや診断サポートなどの設定ができます。→P152

カメラ : 静止画や動画を撮影します。→P95

カレンダー : カレンダーの表示とスケジュールの登録ができます。

かんたん電話 : 電話の利用や通話の設定ができます。→P73

かんたん電話帳 : 電話帳を利用できます。→P81

緊急情報 : 緊急連絡先や医療情報などを登録することができます。

ゲームゾーン : 快適にゲームをプレイするための各種設定やランチャー／ギャラリー機能が利用できます。→P156

災害用キット : 「災害用伝言板」や緊急速報「エリアメール」「どこでも災害・避難情報」「復旧エリアマップ」をご利用いただくためのアプリです。→P90

スケジュール : スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。→P115

スプレッドシート : スプレッドシートの作成・編集・共有ができます。

スライド : プレゼンテーションの作成・編集・共有ができます。

設定 : 本端末の各種設定を行います。→P122

通話設定 : 通話の設定ができます。→P79

データコピー : 機種変更時のデータ移行や、microSDカードへのバックアップ・復元ができるアプリです。→P119

データ保管BOX : データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で管理できるサービスです。

電卓 : 加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。→P118

電話 : 電話の利用や、通話の設定をすることができるアプリです。

ドキュメント : ドキュメントの作成・編集・共有ができます。

時計 : アラーム、時計（世界時計）、タイマー、ストップウォッチ、おやすみ時間が利用できます。→P116

ドコモ電話帳 : ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます。

ドコモメール : ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。→P84

ドライブ : 本端末に保存されている写真や動画などを Google ドライブにアップロードして、複数のデバイスからアクセスできます。文書を作成して共有したり、編集したりできます。

取扱説明書 : 本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。

ニュース : 無料で新聞・雑誌・エンタメニュースが読めて、クーポンも充実の人気ニュースアプリです。

フォト : 写真の閲覧や加工ができます。また Google のクラウドに保存することもできます。→P103

マップ：現在地の表示や別の場所の検索、経路検索などを行うことができます。→P114

メモ：メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。

らくらくコミュニティ：共通の趣味や話題を通じて会員同士が交流できる安心・安全なインターネットコミュニティです。→P109

ララしあコネクト：歩数・歩速、心拍数、睡眠時間、血圧などのデータを元に、健康管理をサポートする総合アプリです。→P110

4 お知らせ

- このプリインアプリ一覧は、お買い上げ時の状態でホーム画面またはアプリ一覧画面に表示されているものです。
- プリインアプリによっては、アンインストールできる場合があります。アンインストールしても Play ストアなどで再度ダウンロードできる場合があります。→P104
- プリインアプリによっては、初回起動時に Play ストアやドコモのサイトにアクセスしてインストールが必要な場合があります。

◆ アプリ一覧画面の管理

V アプリアイコンなどの移動

1 アプリ一覧画面で移動するアイコンをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグ

※「ソートメニューで並び替え」を選択している場合は、つけた順、アプリ名順、インストール順に自動で並び替えられます。

V フォルダ名の変更

1 アプリ一覧画面でフォルダを選択

2 フォルダ名をタップ

3 フォルダ名を入力

- キーボードに表示される [確定] をタップします。

SmartNews for docomo

SmartNews for docomoは、世の中で「いま」起きていることや、あなたの生活に役立つ、良質な身近な情報を毎日お届けするニュースアプリです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客さまの好みに近づいていきます。表示チャンネルやPush通知、星座や天気の地域など、お好みの設定にカスタマイズすることもできます。

◆ 記事の見かた

1 ホーム画面で

- 初期画面が表示された場合は、画面に従って操作し、規約に同意することで利用できます。
- チャンネル別の記事一覧画面が表示されます。
- 左右にフリックするとチャンネルを切り替えられます。

2 読みたい記事をタップ

- 記事一覧画面で記事をタップすると、その記事の詳細を読むことができます。

アプリを探す

アプリをアプリ名で検索する機能です。

- 1 ホーム画面で
- 2 アプリ検索バーにアプリ名を入力
- 3 アプリを選択
アプリが起動します。

my daiz NOW

my daiz NOWは、あなたの好みや行動に合わせて便利な情報をお届けするサービスです。天気や交通情報、グルメ情報などの生活に便利な情報がチェックできます。

◆ 画面の見かた



1 ホーム画面で右にフリック

- 上下スワイプで表示するカードを切り替えることができます。
- 左にフリックするとホーム画面に戻ります。

2 読みたいカードをタップ

- カードをタップすると、より詳細な情報が閲覧できます。
- 画面左上に表示されるmy daiz（キャラクター）をタップすると、知りたいことに対話で応えてくれます。

◆ 表示設定

- 1 ホーム画面のアイコンなどが無い部分をロングタッチ→[ホーム設定]
- 2 [my daiz NOW表示設定]のON/OFFを設定

ホームアプリの情報

docomo LIVE UXのバージョン情報などが確認できます。

1 ホーム画面で王→：

2 [アプリ情報]

- docomo LIVE UXのアップデートがある場合は、アプリケーション情報画面に「今すぐアップデート」が表示され、タップするとdocomo LIVE UXをアップデートできます。

電話をかける

1 ホーム画面で $\pm$ (アプリ一覧)→[arrows]→[かんたん電話]

ダイヤル入力画面が表示されます。

- 通話履歴が表示された場合は、[ダイヤル] をタップします。
- 初めてかんたん電話を起動したときには、かんたん電話をデフォルトの電話アプリに設定する画面が表示されます。[設定する] → [かんたん電話] を選択 → [デフォルトに設定] でかんたん電話が利用できます。

2 電話番号を入力

- 訂正する場合は [削除] をタップします。
- 電話番号を入力せずに [電話帳を開く] をタップすると、かんたん電話帳の連絡先一覧画面が表示されます。
- 電話番号を入力した状態で [メニュー] をタップすると、「電話帳に登録」「通知で電話する」「非通知で電話する」「国際電話をかける」「通話アカウント」の操作ができます。

3 [電話をかける]

4 通話が終了したら $\blacksquare$ (通話を終了)

4 お知らせ

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、電話番号を入力した状態で [メニュー] をタップ、[通話アカウント] から [発信先] をタップすると発信時に使用するSIMを設定できます。発信ごとに選択するには、「最初に確認する」を選択します。
- VoLTEは、通話を高品質でご利用いただけます。VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。
 - VoLTE対応機種であること
 - VoLTE利用可能エリアであること
 - 「SIM」の「優先ネットワークの種類」※が「5G/4G/3G/GSM」「4G/3G/GSM」のいずれかに設定されていること
- ※ ホーム画面で $\pm$ (アプリ一覧) → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [SIM] → SIMを選択 → [優先ネットワークの種類] で設定できます。
- VoLTE (HD+) は、通話の音声VoLTEよりさらに高音質でご利用いただけます。VoLTE (HD+) のご利用には、VoLTEのご利用条件に加えて、自分と相手がVoLTE (HD+) 対応機種である必要があります。
- 通話中に近接センサーに顔などが近づくとディスプレイの表示が消え、離れると再表示されます。
- 本端末にイヤホン挿入している場合、またはスピーカーフォンで通話を行っている場合は、近接センサーを停止します。そのため、近接センサーに顔などが近づいてもディスプレイの表示は消えません。
- 通話中に髪の毛の上から受話口／スピーカーを当てている場合、近接センサーが正常に動作しなくなり、通話が遮断される場合があります。

- ・[発信者番号通知] (→P79) で通知／非通知を一括設定できます。
- ・通話中にプッシュ信号を送信する場合は、「通話中の操作」をご覧ください。→P77

◆ 緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上保安本部への通報	118

- ・本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定に関わらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。
また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- ・本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話

が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。

- ・電源キーと音量キーの上を同時に押す→[緊急通報]をタップしても緊急通報をかけることができます。
- ・かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- ・日本国内ではnanoSIMカードとeSIMのどちらも利用できない状態、または[SIMを使用]がOFFになっている場合はPINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中、ソフトウェア更新中は緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- ・海外で110番、119番、118番を発信すると緊急呼通話中画面が表示される場合がありますが、通常発信されています。
- ・着信拒否設定が有効な状態で緊急通報を行うと、着信拒否設定は無効に変更されます。
- ・通信事業者によってはVoLTE緊急通報が利用できない場合があります。その場合は、[4G 回線による通話] (→P126) をOFFにしてください。
- ・一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。
- ・本製品は、W-CDMAの緊急通報機能はありません。

◆ 通話ごとに発信者番号を通知／非通知

電話をかけるときに自分の電話番号を相手の端末に表示させるかどうかを設定します。

- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

1 ホーム画面で $\square$ (アプリ一覧)→[arrows]→[かんたん電話]

2 電話番号を入力

3 [メニュー]→[通知で電話する]／[非通知で電話する]→[電話をかける]

◆ 追加番号を入力して発信

銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要がある場合、あらかじめ電話番号と追加の番号を一度に入力して発信することができます。

「#」をロングタッチすると「:」(待機)が、「*」をロングタッチすると「,」(2秒間の停止)が入力されます。

- 待機「:」: 電話番号をダイヤルした後、自動的に待機し追加番号の確認メッセージが表示されます。

「はい」をタップすると追加番号をダイヤルします。

- 2秒間の停止「,」: 電話番号をダイヤルした後、自動的に2秒間一時停止してから追加番号をダイヤルします。

1 ホーム画面で $\square$ (アプリ一覧)→[arrows]→[かんたん電話]

2 電話番号を入力→待機「:」(「#」をロングタッチ)／2秒間の停止「,」(「*」をロングタッチ)→追加番号を入力

3 [電話をかける]

- 待機「:」の場合、電話がつながったら「はい」をタップすると追加番号をダイヤルします。

4 お知らせ

- 通話中にダイヤルパッドを表示して番号を入力する場合は、通話中画面で「通話を追加」→追加番号を入力します。

◆ 国際電話 (WORLD CALL)

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。

- WORLD CALLの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で $\square$ (アプリ一覧)→[arrows]→[かんたん電話]→+([0]をロングタッチ)→「国番号-地域番号(市外局番)の先頭の0を除いた電話番号」を入力→[電話をかける]

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 国リストから選択して「+国番号」を入力する場合は、地域番号(市外局番)と電話番号を入力し、[メニュー]→[国際電話をかける]→国を選択します。

電話を受ける

◆ 音声電話を受ける

〈例〉スリープモード中に電話がかかってきた場合

1 電話がかかってくる



音声電話の着信中画面

着信画面（全画面）が表示されます。

- 着信音、パイプレータの動作を止めるには、電源キーまたは音量キーを押します。

2 (応答)を上にスワイプ

- 通話を開始すると、通話中画面右上に数秒間 (マイクアイコン) が表示されます。

着信拒否：(応答)を下にスワイプ

応答拒否SMS送信：(拒否してメッセージを送信)
を上にスワイプ→メッセージを選択

伝言メモ録音：(伝言メモを開始)を上にスワイプ

3 通話が終了したら(通話を終了)

4 お知らせ

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、どちらのSIMかをアイコンで表示します。
- ホーム画面表示中やアプリ起動中に着信すると、画面上部に着信画面が表示されます。応答し、通話を終了すると通話前の画面に戻ります。なお、着信画面で着信相手の名前または電話番号をタップすると、着信画面（全画面）を表示できます。
- 伝言メモをONにしていた場合は10件まで保存できます。すでに10件保存された状態で着信があると、通常の着信となり伝言メモは起動しません。伝言メモを起動できるようにするには、伝言メモのリストから不要な伝言メモを削除（→P79）してください。
- 電話に出られなかったときは、ステータスバーに通知アイコン（→P56）が表示されます。通知パネル（→P58）を開いて不在着信を確認したり、電話の発信やSMSを送信したりできます。

◆ 操作中に着信を受ける

ホーム画面表示中やアプリ起動中に着信すると、画面上部に着信画面がポップアップ表示されます。



- 着信画面で着信相手の名前または電話番号をタップすると、着信画面（全画面）が表示できます。
- 応答して通話を終了すると、通話前の画面に戻ります。

通話中の操作

通話中画面では次の操作ができます。

- 発信中／通話中に音量キーで、通話音量の調節をすることができます。



音声通話中画面

- ① 相手の名前や電話番号
- ② ダイヤル入力のダイヤルパッドを表示
プッシュ信号（DTMF トーン）を送信します。
- ③ ミュートをON／OFF
 - ミュートをONにすると、自分の声が相手に聞こえないようになります。
- ④ 通話を追加
キャッチホンを利用して別の相手との通話を追加の操作ができます。
- ⑤ 通話時間
- ⑥ 自分の電話番号
- ⑦ スピーカーフォンをON／OFF

- Bluetooth機器を接続している場合は、音声の出力先を切り替えることができます。

⑧ 保留

通話の保留※／保留解除ができます。

※ 保留をご利用いただく場合は、キャッチホン契約が必要です。

⑨ 通話を終了

4 お知らせ

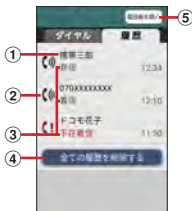
- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、どちらのSIMかをアイコンで表示します。自分の電話番号には通話中のSIMの電話番号を表示します。
- キャッチホンをご契約の場合は、音声通話中に「通話を追加」をタップして別の相手に電話をかけることができます。
- スピーカーフォンをONにすると、相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話ができます。

発着信履歴

電話の発着信履歴を確認できます。

1 ホーム画面で**王**(アプリ一覧)→[arrows]→[かんたん電話]

2 [履歴]



① 名前や電話番号

タップすると詳細画面が表示されます。詳細画面から電話発信や電話帳に登録、メッセージの送信などできます。

② 履歴アイコン

発信履歴は📞(発信履歴)、着信履歴は📞(着信履歴)、不在着信履歴は📞(不在着信履歴)がそれぞれ表示されます。

③ 発着信の種類

発信、着信、不在着信などがそれぞれ表示されます。

④ 通話履歴の全件削除

- ⑤ 電話帳を開く
タップすると、かんたん電話帳の連絡一覧画面が表示されます。

◆ 発着信履歴の削除

- 1 通話履歴画面で[全ての履歴を削除する]
- 2 [削除する]→[OK]

伝言メモ

伝言メモの設定や録音した伝言の再生／削除を行います。

- 1 ホーム画面で $\square$ (アプリーク)→[arrows]→[通話設定]→[伝言メモ]
- 2 各項目を設定
伝言メモ：伝言メモのON／OFFを設定します。
 - 保存した伝言メモが最大保存件数を超えた場合は、設定を有効にしても伝言メモで応答しません。伝言メモリスト：録音した伝言メモのリストを表示します。伝言メモを選択→▶をタップすると伝言が再生されます。
 - 伝言メモをロングタッチ→[1件削除]→[はい]をタップすると伝言が1件削除されます。伝言メモがない旨のメッセージが表示された場合は[OK]をタップしてください。
 - 伝言メモのリストで $\equiv$ →[全件削除]→[はい]→[OK]をタップすると伝言が全件削除されます。

- 伝言メモに録音できる1件あたりの最大録音時間や保存可能件数については、「主な仕様」をご覧ください。→P193

着信呼出設定：着信呼出時間を設定します。

4 お知らせ

- かかってきた電話に伝言メモで対応する場合は、相手の方へ「ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音の後に、60秒以内でメッセージをお話ください。」というメッセージが流れます。

通話設定

ドコモのネットワークサービスや通話、インターネット通話に関するさまざまな設定を行います。

- 1 ホーム画面で $\square$ (アプリーク)→[arrows]→[通話設定]
- 2 各項目を設定
ネットワークサービス・海外設定・オフィスリンク：ドコモのネットワークサービスと海外ローミング時の動作、オフィスリンクの設定をします。
 - ネットワークサービス：次のドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。
 - 留守番電話サービス：サービスの開始／停止、呼出時間設定などを行います。
 - 転送でんわサービス：サービスの開始／停止、転送先変更などを行います。
 - キャッチホン：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
 - 発信者番号通知：通知設定を行います。

- 迷惑電話ストップサービス：登録、削除、登録件数の確認、詳細設定を行います。
- 番号通知お願いサービス：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
- 着信通知：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
- 英語ガイドランス：設定、設定確認を行います。
- 遠隔操作設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
- 公共モード（電源OFF）設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
- ・ 海外設定：設定方法→P180
- ・ オフィスリンク設定※：オフィスリンクの保留転送、プレフィックスに関する設定を行います。
- ・ 利用者情報の送信：利用者情報の送信を許諾するかを設定します。

伝言メモ：設定方法→P79

クイック返信：電話に出られないときに送るメッセージを確認したり、編集したりできます。

ブロック中の電話番号：着信をブロックする発信元を設定します。

通話時間アラーム：発信時にアラームで通話時間をお知らせするように設定します。

電源ボタンで通話を終了：通話中に、電源キーを押して通話を終了するように設定できます。

国際ダイヤルアシスト：日本国外から電話をかけるときに、国番号（+81）を付与するように設定できます。

※ オフィスリンクは法人のお客様向け内線サービスです。

4 お知らせ

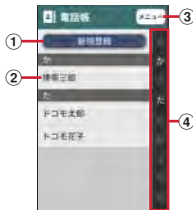
- ・ ホーム画面で  (アプリ一覧) → [設定] → [音とバイブレーション] をタップして、通話音量や着信音など、音に関する設定ができます。→P140
- ・ ホーム画面で  (アプリ一覧) → [arrows] → [通話設定] → [クイック返信] をタップすると、着信時に利用できるSMSの編集ができます。
- ・ ホーム画面で  (アプリ一覧) → [arrows] → [通話設定] → [ブロック中の電話番号] をタップすると、電話帳にない番号、非通知、公衆電話、不明な発信者からの着信のブロックと、設定した電話番号からの着信とSMSをブロックできます。
- ・ [電源ボタンで通話を終了] をONにすると、電源キーを押して通話を終了することができます。通話中にスリープモードになった場合は、電源キーを押してスリープモードを解除してから電源キーを押すと、通話を終了できます。

電話帳

電話帳には電話番号やメールアドレスなどを登録できます。簡単な操作で登録した相手に連絡できます。

- ドコモデータコピーアプリを使用すると、電話帳やその他のデータを一括でバックアップ/復元することができます。詳細は「ドコモデータコピー」の「バックアップ・復元」をご覧ください。→P119

1 ホーム画面で $\square$ (アプリ一覧)→[arrows]→[かんたん電話帳]



① 新規登録

連絡先を新規登録します。

② 名前

タップすると詳細画面が表示されます。詳細画面から電話発信、メール送信、SMS送信、登録内容の修正などの操作ができます。

③ メニュー

グループ表示、電話帳検索などができます。

④ インデックス

インデックスを表示します。

◆ 電話帳に登録

連絡先を登録します。

1 ホーム画面で $\square$ (アプリ一覧)→[arrows]→[かんたん電話帳]

2 [新規登録]

3 名前を入力→[次へ]

4 フリガナを入力→[次へ]

- 入力した名前のフリガナがあらかじめ入力されています。修正の必要がなければそのまま[次へ]をタップします。

5 電話番号を入力→[次へ]

6 メールアドレスを入力→[次へ]

7 [この内容で登録する]→[OK]

- 住所やメモなどを登録する場合は、各項目で[追加]をタップします。

4 お知らせ

- 各項目で[省略]をタップすると、項目を設定せずに次の操作に進みます。
- 発信履歴から電話帳に登録する場合は、ホーム画面で $\square$ (アプリ一覧)→[arrows]→[かんたん電話]→[履歴]→登録したい履歴を選択→[メニュー]→[電話帳に登録]→[電話帳に新規登録] / [電話帳に追加登録]

録] → 各項目を設定 → [この内容で登録する] → [OK]
をタップします。

◆ 連絡先の編集

登録済みの連絡先の内容を修正します。

- 1 連絡先リストで修正したい連絡先を選択 → [修正する]
- 2 各項目を設定
 - ・名前や電話番号などを編集できます。
- 3 [この内容で登録する] → [OK]

◆ 連絡先の削除

登録済みの連絡先を削除します。

- 1 連絡先リストで削除したい連絡先を選択
- 2 [メニュー] → [削除する] → [削除する] → [OK]

4 お知らせ

- ・シンプルホームの短縮ダイヤルに連絡先を登録している場合、電話帳から連絡先を削除しても、シンプルホームの短縮ダイヤルは自動では削除されません。次の手順で削除してください。
短縮ダイヤルアイコンをロングタッチ → [ホーム配置をやる] → [OK]

◆ 連絡先を検索

連絡先を検索します。

- 1 連絡先リストで[メニュー] → [検索する]
- 2 検索したいキーワードを入力 → [検索する]

◆ 電話帳をグループごとに表示

連絡先を登録したグループごとに表示できます。

- 1 連絡先リストで[メニュー] → [グループ表示する] → 表示したいグループを選択

Ⅴ グループの新規作成

連絡先を登録するグループを作成できます。

- 1 連絡先リストで[メニュー] → [グループ表示する]
- 2 [メニュー] → [グループを編集する] → [グループを追加]
- 3 [一覧から選ぶ] → 一覧からグループを選択 → [この内容で登録する] → [OK]
入力して追加: [直接入力する] → グループ名を入力 → [決定] → [この内容で登録する] → [OK]

自分の電話番号

ご利用の電話番号を確認できます。また、ご自身の情報を入力、編集したりできます。

1 ホーム画面で $\pm$ (アプリー覽)→[設定]→[パスワードとアカウント]→[マイプロフィール]→アプリを選択

- [修正する] (ドコモ電話帳の場合は(編集)) をタップすると、名前やメールアドレスなどのマイプロフィールを修正できます。
- プロフィール画面で [メニュー] → [共有する] (ドコモ電話帳の場合は(その他のオプション)) → [共有] をタップすると、共有の操作ができます。

ドコモメール

ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。

送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.docomo.ne.jp/service/docomo_mail/

1 ホーム画面で (ドコモメール)

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

+メッセージ

携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージだけでなく、画像、動画、スタンプ等をチャット形式で送受信できます。また、1対1でのメッセージのやりとりだけではなく、複数人でのグループメッセージのやりとりもできます。

+メッセージを利用していない相手とは、+メッセージアプリでショートメッセージサービス (SMS) での送受信をすることができます。

また、公式アカウントを利用することで企業とのメッセージのやりとりを行うことができます。

+メッセージの詳細については、ホーム画面で [+メッセージ] → [マイページ] → [ヘルプ] → [使い方ガイド] を参照するか、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.docomo.ne.jp/service/plus_message/

1 ホーム画面で [+メッセージ]

- 画面下部のメニューより [連絡先] をタップすると連絡先一覧画面が、[メッセージ] をタップするとメッセージ一覧画面が表示されます。



① 切替タブ

タップすることで、すべての連絡先を表示するか、+メッセージの利用者（+のアイコンが表示されている連絡先）のみを表示するか、切り替えることができます。

② マイプロフィール

お客様の連絡先が表示されています。タップすることでマイプロフィールを表示・編集できます。

③ 公式アカウントを探す

タップすると公式アカウントストアが表示されます。

④ お気に入りの連絡先

お気に入り設定した連絡先が連絡先一覧の上段、[公式アカウントを探す]の下に表示されます。

⑤ 連絡先

タップすることで、連絡先の詳細を確認することができます。

⑥ +（+メッセージの利用者）

+メッセージを利用している連絡先を表すアイコンです。このアイコンが表示されている連絡先とグループメッセージのやりとりができたり、写真、スタンプ等をやりとりしたりすることができます。

⑦ +（連絡先を追加）

タップすることで連絡先を追加できます。

⑧ プロフィール画像

相手のプロフィール画像が表示されます。連絡先に登録されたプロフィール画像より、相手が登録したプロフィールの画像が優先して表示されます。

⑨ メッセージ

タップするとメッセージ画面を表示することができます。

⑩ 公式アカウント

企業が運営しているアカウントです。アイコンが丸囲いの四角（□）で表示されます。

⑪ ✓（認証済みマーク）

ドコモの審査を通過したことを示す認証済みマークです。

⑫ H（その他のオプション）

サブメニューを表示します。

- すべて既読：未読メッセージをすべて既読にします。
- メッセージの並べ替え：メッセージの並べ替えを行います。

⑬ +（新しいメッセージを開始）

新しいメッセージと新しいグループメッセージを作成できます。

◆メッセージを送信する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 画面下部のメニューより[メッセージ]→ ●(新しいメッセージを開始)→[新しいメッセージ]／[新しいグループメッセージ]

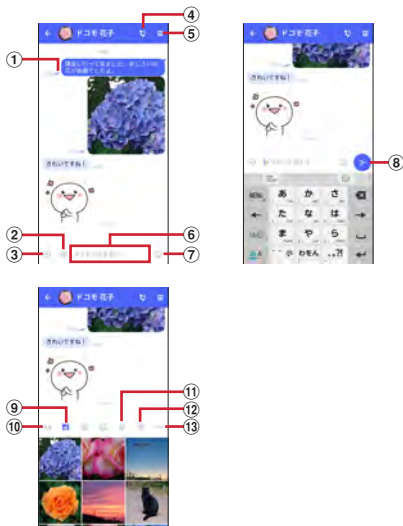
- グループメッセージとは、+メッセージサービス利用者（連絡先に●(+メッセージの利用者) マークがついている人）複数人でメッセージのやりとりができる機能です。

3 宛先を選択

- 連絡先に登録されていない宛先に送信する場合は、[名前や電話番号を入力] をタップし、電話番号を直接入力してください。
- グループメッセージの場合は、宛先を複数選択後 [OK] をタップしてください。

4 メッセージ入力欄をタップして文字を入力 →●(送信)

- 宛先が+メッセージ利用者であれば、写真や動画、スタンプを送信できます。



⑤ 配信状態

メッセージの配信状態を表示します。

✓(メッセージの状態 表示)：相手がメッセージを閲覧済み

- 送受信者両方の「メッセージの既読機能」設定がオンの場合のみ、お互いの既読状態を確認できません。

✓(メッセージの状態 配信済み):相手の端末でメッセージを受信済み
(アイコン表示なし):サーバにメッセージを送信済み

✗(メッセージの状態 送信失敗):メッセージ送信に失敗

⑤ (写真を撮る)

タップするとカメラが起動します。ロングタッチすると、写真が撮影されそのまま送信することができます。

③ (テキスト+)

写真やスタンプ、位置情報などを送信するためのシェアトレイを表示します。

- シェアトレイを表示すると、画像送信や音声録音などの機能が使用できます。

④ (通話を開始)

電話アプリが起動し、発信できます。

⑤ (メッセージ詳細)

サブメニューを表示します。

- 連絡先の登録や、通知設定の変更などができます。

⑥ (メッセージ入力欄)

メッセージを入力することができます。

⑦ (スタンプ)

スタンプ選択画面への切り替えができます。

⑧ (送信)

入力したメッセージを送信します。

⑨ (ギャラリー)

画像選択画面への切り替えができます。

⑩ (テキスト)

テキスト入力画面への切り替えができます。

⑪ (ボイスメッセージ)

音声録音画面への切り替えができます。

⑫ (位置情報)

地図画面への切り替えができます。

⑬ (マイページ)

連絡先/スケッチ/ファイル共有が選択できます。

4 お知らせ

ショートメッセージサービス (SMS) についてのお知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 宛先に「#」または「*」がある場合、SMSを送信できません。
- 宛先の電話番号に184/186を付与した場合はSMSを送信できません。

+メッセージについてのお知らせ

- 海外ローミングにより+メッセージアプリをご利用いただくには、+メッセージアプリにて海外ローミング時の+メッセージ利用設定を「オン」に設定していただく必要があります(初期設定は「オフ」に設定されています)。
また、端末のデータローミングの設定を「オン」にしてください。
- 機種変更前、またはMNPによる転入前端末で+メッセージを利用されていた場合であっても、メッセージの受信を行うには+メッセージアプリを起動し、+メッセージ利用規約等に同意いただく必要があります。

◆ メッセージを読む

送受信したメッセージは、宛先／送信者ごとにスレッドにまとめて表示されます。

- 1 ホーム画面で[+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[メッセージ]→読みたいメッセージのスレッドを選択
 - メッセージを返信する際に使用する各機能については、「メッセージを送信する」をご覧ください。→ P86

◆ メッセージを転送する

- 1 ホーム画面で[+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[メッセージ]→スレッドを選択
- 3 転送するメッセージをロングタッチ→ (転送)
- 4 宛先を選択し、メッセージを入力→ (送信)

◆ メッセージを削除する

- 1 ホーム画面で[+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[メッセージ]→スレッドを選択
- 3 削除するメッセージをロングタッチ→ (削除)→[削除]
 - 本端末上のメッセージのみ削除され、相手側のメッセージは削除されません。
なお、削除したメッセージは元に戻すことができません。
 - 画像選択時等、 (削除) が表示されない場合があります。その場合は、 (その他のオプション) → [削除] → [削除] の順に操作してください。

◆ スレッドを削除する

- 1 ホーム画面で[+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[メッセージ]→削除するスレッドをロングタッチ
- 3  (削除)→[削除]
 - グループメッセージのスレッドを削除すると、グループから退出されます。

◆ +メッセージの設定を変更する

- 1 ホーム画面で[+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[マイページ]→[設定]
- 3 各項目を設定
メッセージ：メッセージに関する設定や、バックアップ・復元などができます。
公式アカウント：公式アカウントの通知音設定ができます。
写真や動画：送受信時の写真や動画などの添付ファイルなどに関する設定ができます。
テーマカラー・背景：テーマカラーやメッセージ画面の背景が設定できます。
通知：通知に関する設定ができます。
プライバシー：パスコードやブロックなどが設定できます。
その他：ユーザー情報引き継ぎの設定や+メッセージサービスの初期化などができます。

◆ 公式アカウント機能を利用する

- 1 ホーム画面で[+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[公式アカウント]
- 3 「公式アカウント」画面にて利用したいアカウントをタップ
- 4 「利用規約に同意し、この公式アカウントを利用します」にチェックを付ける
- 5 [利用する]

Gmail

Google のメールサービスや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- Google アカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

◆ Gmail の表示

1 ホーム画面で[Google]→[Gmail]

受信トレイにメッセージスレッドの一覧が表示されます。

- Gmail の詳細については、三をタップまたは画面の左端を右にフリック→[ヘルプとフィードバック]をタップしてヘルプをご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
 - 電源オフ時
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
 - ソフトウェアアップデート中
 - PINコード入力画面表示中
 - 音声通話中（VoLTE音声通話中を除く）

◆ 緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

- 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

1 エリアメールを自動的に受信する

2 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーにアイコンが表示され、エリアメールの本文が表示される

V 受信したエリアメールを後で確認する

- 1 ホーム画面で $\square$ (アプリ一覧)→[ツール]→[災害用キット]→[緊急速報「エリアメール」]→[エリアメール]
- 2 エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択

V エリアメールを削除する

- 削除したエリアメールは元には戻せません。

- 1 ホーム画面で $\square$ (アプリ一覧)→[ツール]→[災害用キット]→[緊急速報「エリアメール」]→[エリアメール]
- 2 エリアメール一覧から、任意のエリアメールをロングタッチ
- 3 [削除]→[削除]

Chrome™

「Chrome」アプリを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。

本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続で「Chrome」アプリを利用できます。

◆ Webサイト表示中の画面操作

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に傾けて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパン（→P48）して見たい部分を表示します。

■ Webページの拡大／縮小

ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。

◆ Chrome を起動してWebサイトを表示

1 ホーム画面で Chrome (Chrome)

ホームページに設定しているWebページが表示されます。

- 画面を下方向にスライドするとWebページの最上部にアドレスバーが表示され、URLやキーワードを入力することができます。

◆ 新しいタブを開く

複数のタブを開いてWebページをすばやく切り替えることができます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→ (タブを切り替えるまたは閉じる)*

* 開いているタブの数によって数字が異なります。

2 +

新しいタブが開き、Webページが表示されます。

切り替え：表示するタブをタップ

閉じる：閉じるタブの× (タブを閉じます)

4 お知らせ-----

- Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→ (Google Chrome の設定) → [新しいタブ] をタップしても新しいタブを開くことができます。

◆ シークレットタブでWebサイトを表示

閲覧履歴や検索履歴を残さずに、Webページを閲覧できます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→ (Google Chrome の設定)

2 [新しいシークレット タブ]

シークレットタブでWebページが表示されます。

- アドレスバーにURLやキーワードを入力します。

- シークレットタブを起動中の場合はステータスバーに (シークレットモード) が表示されます。
- シークレットタブを閉じるには、Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→ (タブを切り替えるまたは閉じる) * → シークレットタブの (タブを閉じます) をタップします。

* 開いているタブの数によって数字が異なります。

4 お知らせ-----

- シークレットタブで開いたWebページは履歴に残りません。シークレットタブを閉じるとCookieなどの記録も消去されます。ただし、ダウンロードしたファイルやブックマークに登録したWebページは保存されます。

◆ 履歴からWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→ (Google Chrome の設定)→[履歴]

2 Webサイトの履歴を選択

◆ ブックマークを登録してWebサイトを表示

V ブックマークの登録

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→ (Google Chrome の設定)→☆(ブックマーク)

V ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→
⋮ (Google Chrome の設定)→[ブックマーク]

2 ブックマークを選択

- ブックマークの右の⋮ (XXXXのオプション ※XXXXは任意) をタップすると、編集や削除などができます。

◆ Webサイトのリンク操作

Webサイトに表示されているリンクを新しいタブで開いたり、アドレスやテキストのコピーやファイルのダウンロードなどができます。

1 Webサイト表示中にリンクをロングタッチ

2 メニューから目的の操作を選択

4 お知らせ

- ダウンロードしたファイルは、「Files」アプリ (→ P168) やWebサイト表示中に⋮ (Google Chrome の設定) → [ダウンロード] をタップして確認できます。

◆ Webサイトの画像をダウンロード

1 Webサイト表示中に画像を選択(ロングタッチ)→[画像をダウンロード]

- ダウンロードした画像は、「フォト」アプリ (→ P103) やWebサイト表示中に⋮ (Google Chrome の設定) → [ダウンロード] をタップして確認できます。

◆ Webサイトの文字列をなぞってコピー

1 Webサイト表示中にスライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、スライドインランチャーの (なぞってコピー) で指を離す

2 文字列を指でなぞる

- 以降の操作は「なぞってコピー」をご覧ください。→P62

◆ Webページを印刷

Wi-Fi対応プリンタを利用して表示しているWebページを印刷できます。あらかじめプリンタとの接続を設定しておきます。→P173

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→
⋮ (Google Chrome の設定)→[共有…]→[印刷]

- 以降の操作は「印刷」をご覧ください。→P174

◆ Chrome の設定

検索エンジンやプライバシーなどの設定ができます。

- 1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→
⋮ (Google Chrome の設定)→[設定]

2 各項目を設定

同期をONにする：Google アカウントで Chrome にログインし、端末間の同期を設定します。

Google のサービス：Google サービスを設定します。

検索エンジン：Webページを検索するときに使用する検索エンジンを設定します。

パスワード マネージャー：Webページに入力したパスワードを保存するかなどを設定します。

お支払い方法：お支払い方法について設定します。

住所やその他の情報：住所や電話番号などの情報を設定します。

プライバシーとセキュリティ：安全性や利便性についての設定をします。

安全チェック：データ侵害や安全でないウェブサイトなどの脅威から保護されているか確認します。

通知：新着通知の通知方法について設定します。

テーマ：テーマを設定します。

ホームページ：ホームページを設定します。

ツールバー ショートカット：ツールバーに表示するショートカットを設定します。

ユーザー補助機能：文字のサイズやズームなどの画面表示について設定します。

サイトの設定：CookieやJavaScriptなどサイトに関する設定をします。

言語：表示する言語を設定します。表示可能な場合、設定した言語で表示できます。

ダウンロード：ダウンロード時の保存場所などを設定します。

Chrome について：アプリのバージョンなど、Chrome に関する情報を確認できます。

カメラ

カメラ

◆ 撮影時の注意事項

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られています。常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が現れることがあります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本端末の温度が高い状態が続くと、カメラを利用できなくなる場合があります。本端末の温度が下がってからカメラをご利用ください。
- 本端末の電池残量が少ないと、カメラを利用できなくなる場合があります。十分に充電してからカメラをご利用ください。
- 撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- カメラ利用時は電池の消費が早くなりますのでご注意ください。

- 本端末の電池残量が少なくなると、フラッシュの光量が制限される場合があります。
- 待機中に約2分間操作をしないとカメラは終了し、ステータスバーに📷が表示されます。
- 被写体との距離を約10cm以上にすると、オートフォーカスでシーン別の撮影モードにより自動的にピントを合わせます。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。

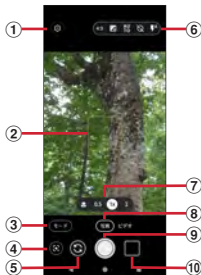
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご注意ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

◆ 撮影画面の見かた

静止画・動画撮影画面でタップするシャッターボタン／録画開始ボタンにより、静止画の撮影／動画の録画が行えます。



静止画撮影画面

① 設定メニュー表示

② フォーカス枠

- 顔が検出された場合は、顔に自動的にフォーカスを合わせて顔検出枠を表示します。顔が検出されない場合は、画面の中央に自動的にフォーカスを合わせるか、または被写体をタップしてフォーカス枠を表示します。

③ 撮影モード

- 撮影モードを選択できます。

④ Google レンズ™

- Google レンズを起動します。

⑤ カメラ切替

- インカメラ／アウトカメラを切り替えます。

⑥ 各機能設定

- フラッシュ／ライト、セルフタイマー、WB、露出、撮影サイズ、フレームレートなどの設定を変更します。

※ 表示される機能は撮影モードによって異なります。

⑦ ズームの倍率

- タップして、ズームの倍率を変更します。アイコンをロングタッチするとスライドバーを表示します。スライドバーを左右にドラッグすると、ズーム倍率を調節できます。また、撮影画面をピンチアウト／ピンチインすると、ズーム倍率を調節できます。
- をタップすると超広角カメラをズームして起動します。

⑧ 静止画の撮影／動画の録画切替

静止画の撮影／動画の録画を切り替えます。

⑨ シャッターボタン／録画開始ボタン

- 静止画撮影時にはシャッターボタン、動画の録画時には録画開始ボタンとして使用します。

⑩ 直前に撮影した静止画／動画

- タップして撮影した静止画や動画を確認できます。カメラ再起動後は枠のみの表示となりますが、タップして撮影した静止画や動画を表示できます。表示したデータの操作は「フォト」(→P103)をご覧ください。

4 お知らせ

- カメラの起動時に保存先を切り替える確認画面が表示された場合は、[いいえ] / [切り替え] をタップします。
- 空き容量が少なくなると、静止画の残り枚数、動画の残り録画時間が撮影画面に表示されます。
- 静止画・動画の撮影画面で●をタップして、[位置情報] [グリッド表示] [水準器表示] をONに設定すると、撮影画面にアイコン、補助線、水準器が表示されます。

- Google レンズが表示されない場合は、インターネットに接続してからカメラを起動してください。

◆ 静止画撮影

1 ホーム画面で[カメラ]

静止画撮影画面が表示され、撮影画面右上に数秒間  が表示されます。

2 撮影画面に被写体を表示→○

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

- 音量キーの上または下を押しても、静止画を撮影できません。

■ 静止画撮影画面での主な操作

ズーム：画面をピンチアウト／ピンチイン

- ピンチアウト／ピンチインするとズームの倍率を変更できます。なお、 およびインカメラでのズーム機能は利用できません。

インカメラ／アウトカメラの切り替え：撮影画面で

フラッシュの切り替え：撮影画面で各機能設定→【フラッシュ】から選択

- フラッシュを  (オート) /  (オン) /  (ライト) /  (オフ) に切り替えます。

※ インカメラの場合は、 (オン) /  (オフ) のみ切り替えます。

目線誘導の切り替え (インカメラのみ)：撮影画面で各機能設定→【アイキャッチ】から選択

- インカメラのレンズ位置へ目線誘導を行うアニメを切り替えます。

4 お知らせ

- 静止画設定のメニューで [SuperNightShot認識] と [AIシーン認識] を同時に有効にしている場合は、暗所で

の Super Night Shot 撮影に適したシーンで [SuperNightShot] を自動で表示し、選択できるようになります。このときに [SuperNightShot] を選択しても、撮影モードは [写真] のままとなります。

◆ ポートレート撮影

撮影画面で [モード] をタップして、撮影モードを [ポートレート] に切り替えます。カメラが人の顔をとらえると、人物の背景にぼかしを付けて撮影できます。

- アウトカメラでは、人物以外でも背景にぼかしを付けて撮影できます。インカメラでは、背景にぼかしを付けて撮影できるのは人物のみです。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [モード]→[ポートレート]

ポートレート撮影画面が表示されます。

3 撮影画面に人の顔を表示→背景ぼかしレベルのスライドバーでぼかしを調整→○

- 撮影画面で人の顔を認識するとフォーカス枠が表示され、背景にぼかしが入ります。背景ぼかしレベルのスライドバーを左右にスライドすると、ぼかしの度合いを調整できます。
- 人物が被写体となるように被写体との距離に注意し、離れすぎないようにして撮影してください。
- 音量キーの上または下を押しても撮影できます。

4 お知らせ

- 撮影画面で  /  をタップして、背景ぼかしレベルのスライドバーの表示／非表示を切り替えられます。ぼかしの度合いを決めてからスライドバーを非表示にしても、ポートレート撮影ができます。

◆ Super Night Shot撮影

撮影画面で「モード」をタップして、撮影モードを「Super Night Shot」に切り替えます。暗所で夜景をより効果的に撮影できます。

1 ホーム画面で「カメラ」

2 「モード」→「Super Night Shot」

Super Night Shot撮影画面が表示されます。

3 撮影画面に被写体を表示→●

- カウントダウンが終了すると撮影が始まります。
- 撮影時間がかかりますので、手ぶれをしないようにご注意ください。
- 音量キーの上または下を押しても撮影できます。

◆ 動画撮影

1 ホーム画面で「カメラ」

2 「ビデオ」

- 「モード」→「ビデオ」と操作しても、ビデオモードに切り替えられます。

3 撮影画面に被写体を表示→●(開始)

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 音量キーの上または下を押しても、撮影を開始できます。
- 撮影が開始されると、撮影画面に録画経過時間が表示されます。
- 録画中に●をタップして一時停止できます。●をタップして録画を再開します。

4 ●(停止)

撮影停止音が鳴り、撮影が停止します。

- 音量キーの上または下を押しても、撮影を停止できます。
- 保存先の空き容量が一定量を下回ると、録画が停止します。また録画中に電話の着信があった場合、録画は停止してカメラが終了します。

■ 動画撮影画面の主な操作

録画中の静止画撮影：録画中に表示される●

- 録画中の静止画撮影では、シャッター音は鳴りません。

ズーム：画面をピンチアウト／ピンチイン

- ピンチアウト／ピンチインするとズームの倍率を変更できます。なお、●およびインカメラでのズーム機能は利用できません。
- 録画中でもズーム機能を利用できます。

ライトの切り替え：撮影画面で各機能設定→[ライト] から選択

- 撮影ライトを●(ライト) / ●(オフ) に切り替えます。
※ インカメラの場合は切り替えできません。

◆ スロモ録画

スローモーション効果を適用した動画を撮影できます。撮影した動画を[フォト]で再生した場合は、スローモーションで再生する範囲を指定することもできます。

- スロモ録画での撮影サイズは、「FHD」または「HD」です。
- 撮影されたデータは、映像のみとなり、音声は録音されません。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [モード]→[スロモ録画]

3 ●(開始)

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 音量キーの上または下を押しても、撮影を開始できません。

4 ●(停止)

撮影停止音が鳴り、撮影が停止します。

- 音量キーの上または下を押しても、撮影を停止できません。

5 [フォト]で動画を再生

スロモ録画で撮影した動画は、サムネイルの右上に●が表示されます。

6 画面下の■/■をスライドして、スローモーション再生する範囲を指定

◆ カメラの撮影設定

撮影画面で[モード]をタップすると、撮影モードの切り替えができます。また、●をタップするとカメラの設定画面が表示され、静止画・動画の各種撮影設定を変更できます。

V 撮影モードの切り替え

カメラを起動すると、静止画撮影画面が表示されます。[モード]をタップして静止画以外の撮影モードに切り替えることができます。

■ 写真

静止画を撮影します。

他の撮影モード画面から戻るときには[モード]をタップして切り替えます。

■ ビデオ

動画を撮影します。

■ Photoshop Expressモード

Adobe Photoshop Expressを起動し、撮影した静止画を補正します。

- 補正前と補正後の静止画が保存されます。

■ ポートレート

人の顔の背景にぼかしを付けて撮影します。ぼかしの度合いは調整できます。→P97

■ Super Night Shot

暗い場所でも明るさを自動で補正し、より鮮明な写真を撮影できます。

■ スロモ録画

スローモーション効果を適用した動画を撮影できます。→ P99

■ マニュアル

シャッタースピード／露出／ホワイトバランス／ISO感度／フォーカスを手で調整できます。

■ Google Lens

Google レンズを起動します。

V 共通設定

■ 保存先

microSDカードを装着している場合に、タップしてON (●) にすると、撮影したデータの保存先をmicroSDカードに設定できます。

■ 位置情報

撮影した画像に位置情報を付加するように設定します。タップしてON (●) にすると、位置情報を取得中（未取得）は、取得するとのアイコンが撮影画面に表示されます。

■ グリッド表示

撮影画面で構図を決める補助線（グリッド）を表示します。

■ 水準器表示

撮影画面に水準器を表示します。

V 静止画設定

■ HDR撮影

露光時間の違う3枚の画像を連写・合成して、白飛びや黒つぶれを補正した静止画を撮れるように設定します。

- [HDR撮影] をオンに設定すると、フラッシュ、長押し連写、AIシーン認識、AIシーン認識説明文表示、SuperNightShot認識は使用できません。ただし、Autoに設定すると使用できるようになります。
- HDR設定をAutoに設定しているときに「Auto」HDRで撮影するシーンを検出した場合、撮影画面の左上に、「逆光／HDR オート」を通知するアイコンが表示されます。このアイコンをタップして、一時的にHDR撮影をオフにすることができます。

■ AIシーン認識

ON (●) に設定すると、シーンを自動で判断して撮影します。

自動検出したシーンは、「人物」「夜景」などのシーン名称が表示されます。

シーン認識を解除する場合は、シーン名称の横の✕をタップします。

- フラッシュを①(オート) に設定して、「夜景」を検出すると、フラッシュは点灯しません。
フラッシュアイコンをタップして①(オン) / ②(ライト) にすると、フラッシュ撮影ができます。

■ AIシーン認識説明文表示

ON (●) に設定すると、シーンを認識したときに説明文を表示します。

■ SuperNightShot認識

暗い場所では自動でSuperNightShotを選択して撮影することができます。

■ 長押し連写

シャッターボタンをロングタッチ（長押し）して連写撮影ができます。

- 最大100枚までの連写撮影ができます。
- [長押し連写] をONに設定すると、ビューティーは使用できません。
- [長押し連写] は、超広角カメラやインカメラでの撮影、HDR撮影、フラッシュやセルフタイマーの設定には対応していません。

■ ビューティー

美肌、肌の明るさ、目の大きさ、輪郭補正の効果をかけて撮影します。

- [ビューティー] をONに設定すると、長押し連写は使用できません。

■ インカメラタッチシャッター

撮影画面をタップして撮影できるように設定します。

■ QRコード[®]読み取り

撮影画面にQRコードを表示させると、自動的にQRコードを読み取るように設定します。

- お買い上げ時は、ON (●) に設定されています。

■ バーコード読み取り

撮影画面にバーコードを表示させると、自動的にバーコードを読み取るように設定します。

V 動画設定

■ 手ぶれ補正

動画撮影時の手ぶれを軽減します。

■ コーデック

撮影する動画の圧縮方式をH.264、H.265から選択します。

V その他

■ 設定のリセット

カメラ設定を初期状態にリセットします。

◆ QRコード／バーコード読み取り

カメラの静止画撮影画面でQRコード／バーコードのデータを読み取ります。

お買い上げ時はカメラの[QRコード®読み取り]はON、[バーコード読み取り]はOFFに設定されています。

- 超広角カメラおよびインカメラでは、QRコード／バーコードを読み取ることはできません。
- 被写体（QRコード／バーコード）からカメラを約10cm以上離して読み取ってください。
- QRコード／バーコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。
- QRコード／バーコードが読み取りにくい場合は、QRコード／バーコードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。
- [QRコード®読み取り]と[バーコード読み取り]のいずれかをONにしている場合は、QRコード／バーコードを最大5つまで読み取ることができます。また、[QRコード®読み取り]と[バーコード読み取り]を同時にONにすると、混在しているQRコード／バーコードを最大5つまで読み取ることができます。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 撮影画面にQRコード／バーコードを表示→スキャン

読み取りが完了すると、撮影画面の上部にポップアップが表示され、[詳細]をタップすると、読み取り結果画面が表示されます。

- [コピー]をタップして表示されたURLなどのテキストをコピーできます。

- [バーコード情報を検索]をタップすると、読み取ったバーコードの情報を検索できます。
- 読み取り結果が電話帳の場合は、[電話帳に登録]をタップして登録できます。
- 読み取り結果がWi-Fiのアクセス情報の場合は、[Wi-Fiに接続]をタップし、再度QRコードをスキャンして接続ができます。→P124

4 お知らせ

- 複数のQRコード／バーコードを検出すると、黄色の枠とピンク色の枠が表示されます。ピンク色の枠をタップすると黄色の枠に変わり、撮影画面の上部にポップアップが表示され、[詳細]をタップすると読み取り結果画面が表示されます。
- 複数のQRコード／バーコードが検出されているときには、本製品を動かすと検出枠が変わって読み取れなくなる場合がありますのでご注意ください。

フォト

カメラで撮影した静止画や動画、本端末にダウンロードした静止画や動画を表示／再生します。

◆ 静止画表示／動画再生

1 ホーム画面で[フォト]

画像一覧画面が表示されます。

2 画像を選択

- 前後の画像に切り替えるには、画面を左右にフリックします。
- ピンチアウト／ピンチインで拡大／縮小します。
- 動画は音量キーを押して音量を調節したり、画面をタップして表示されるアイコンやスライダーで再生、一時停止、早戻し、早送りなどの操作をします。

dメニュー

dメニューは、ドコモのさまざまなコンテンツやサービスにアクセスすることができるポータルサイトです。

1 ホーム画面で[dメニュー]

「Chrome」アプリが起動し、「dメニュー」が表示されます。

※ ご利用時には、「サイトご利用にあたって」をご確認ください。

<https://smt.docomo.ne.jp/portal/src/terms.html>

Play ストア

Play ストアを利用して Google Play のサイトへ接続すると、便利なアプリや楽しいゲームを検索して、本端末にダウンロード、インストールできます。また、映画コンテンツをレンタル視聴することができます。

- Google Play を利用するには、本端末に Google アカウントを設定する必要があります。Google アカウントが未設定の場合は、Play ストアの初回起動時に画面の指示に従って設定してください。
- Google Play の詳細については、Google Play 画面で画面右上の Google アカウントアイコンをタップ→[ヘルプとフィードバック] を操作してヘルプをご覧ください。
- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆ アプリのインストール

1 ホーム画面で[Play ストア]

Google Play 画面が表示されます。

2 アプリを検索→アプリを選択

3 [インストール](無料アプリの場合)／[金額](有料アプリの場合)

- アプリによって表示される内容は異なります。
- 有料アプリの購入、返品、払い戻し請求などについて詳しくは、Google Play 画面で画面右上の Google アカウントアイコンをタップ→[ヘルプとフィードバック] を操作してヘルプをご覧ください。
- 有料アプリをアンインストールする場合は、払い戻し画面が表示されることがあります。詳しくは、Google Play 画面で画面右上の Google アカウントアイコンをタップ→[ヘルプとフィードバック] を操作してヘルプをご覧ください。

4 ダウンロードの進捗状況を確認

ホーム画面またはアプリ一覧画面にインストールしたアプリのアイコンが表示されます。

4 お知らせ

- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールした Google LLC が提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様が Play ストアからインストールした Google LLC が提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。
- アプリによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- インストールしたユーザー補助アプリは、[ユーザー補助] から有効にすることができます。→P141

◆ Google Play のアプリの削除

1 Google Play 画面で画面右上の Google アカウントアイコンをタップ→[アプリとデバイスの管理]→[管理]

2 アプリを選択

3 [アンインストール]→[アンインストール]

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に、おサイフケータイ対応のアプリを起動せずに本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使える「おサイフケータイ対応サービス」がご利用いただける機能です。

電子マネーやポイントなどを本端末のICカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。

おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
- 本端末の故障により、ICカード内データ※が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は利用停止などの対応方法について、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。

※ おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ

◆「おサイフケータイ対応サービス」の利用方法

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、「おサイフケータイ」アプリよりサービスを設定してください。

1 ホーム画面で王→[ツール]→[おサイフケータイ]

- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定を行ってください。

2 サービスを選択

3 サービスに関する設定を行う

- サービスのアプリまたはサイトから必要な設定を行います。

4 本端末背面のアウトカメラの右側横にある ㊦マーク(モバイル非接触IC通信マーク)を 読み取り機にかざす

4 お知らせ

- 本端末の電源を切っていても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定時間は、利用できなくなることがあります。
- 本端末のバッテリーセーバーやデータセーバーの設定に関わらず、おサイフケータイ対応のアプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。→P131、P136
- 本端末の電源を入れた後、再起動後およびソフトウェアアップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

◆ 非接触型決済

おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効・無効の設定ができます。

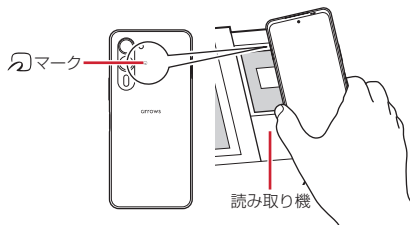
1 ホーム画面で「設定」→[設定]→[接続設定]→[接続の詳細設定]

2 [NFC／おサイフケータイ]→[非接触型決済]

非接触型決済で使用するアプリ画面が表示されます。

◆ 対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことにご注意ください。



- 「マーク」を対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- 「マーク」を対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
- 「マーク」と対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

◆ おサイフケータイの機能をロック

画面消灯および画面ロック中に、おサイフケータイの機能を利用できないようにします。

- おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 ホーム画面で  → [ツール] → [おサイフケータイ]

2  → [NFC／おサイフケータイ ロック ON／OFF] をタップして ON／OFF を設定

◆ iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざしてショッピングができます。

- iDをご利用の場合、iDアプリ等で設定を行う必要があります。発行の方法、ご利用にかかる費用等については、各カード会社にお問い合わせください。
- iDに関する情報については、iDのホームページ (<https://id-credit.com/>) をご覧ください。

arrowsポータル (La Member's)

FCNT製スマートフォンをお使いの方のための会員サービスです。

お持ちのスマートフォンのサポート情報、使い方をアップデートするコンテンツをお届けします。会員登録いただくと、FCNTの独自ポイント「La Point (ラ・ポイント)」を貯められるほか、お得なキャンペーンにご参加いただけます。

- La Member's会員サービスへの登録は無料です。パケット通信料はお客様の負担となります。

1 ホーム画面で  → [arrowsポータル]

2 利用規約に同意して [さっそくしてみる]

3 各ページを見る

ページを移動するときは、画面下の各タブをタップします。

らくらくコミュニティ

共通の趣味や話題を通じて会員同士が交流できる安心・安全なインターネットコミュニティです。

- らくらくコミュニティは無料のサービスです。ただし、サービス利用には、利用登録が必要です。また、パケット通信料がかかります。
- 登録番号とパスワードは、端末の修理や機種変更の際などに必要となります。メモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。

1 ホーム画面で $\pm$ →[arrows]→[らくらくコミュニティ]

2 [同意して次へ]→[次へ]

3 [電話番号で登録・ログイン]→[次へ]→[次へ]

登録が完了して、らくらくコミュニティのトップページが表示されます。

タイムラインから興味のあるユーザーの投稿をタップしてみましょう。

- 登録番号とパスワードは「マイページ」→「プロフィール編集」から確認・変更が出来ます。
- 登録番号とパスワードを既にお持ちの場合は「電話番号で登録・ログイン」→「登録番号でログインはこちら」をタップしてください。
- らくらくコミュニティの使いかたなどを確認するときは、トップページの「メニュー」→「ヘルプ」をタップします。

radiko+FM

FM放送で聴く場合は、アンテナとしてイヤホン（市販品）※を本端末のイヤホンマイク端子に接続しておく必要があります。

※ ケーブルの長さが0.6m～1.5m程度のものを使用してください。安定したFM放送受信のためには1m以上のケーブルを推奨します。

1 ホーム画面で $\pm$ →[arrows]→[radiko+FM]

- radiko+FMの使いかたなどについて詳しくは、から「ラジコの楽しみ方」やヘルプなどをご覧ください。